てんとさいと

２０１８年スケッチ「モンブラン」松浦　剛

草加山の会　№246

「平成」から

「令和」へ

目　次

＊コール……岸野　康恵　2
＊2019年3月から5月山行実績……リーダー部・機関誌部　3
＊私の一名山(北海道　大雪山)……石井　美樹　6
＊朝倉農園でバーベキュー……松浦　剛　5
＊谷川岳（天神尾根）……平野　修次　8
＊越上山……出口　栄子　9
＊晴天の上州武尊……榊原　奈歩　10
＊谷川東尾根……長田　一樹　11
＊埼玉百名山　大高取山・弓立山……鎌形　瑞枝　15
＊360度、雪山に囲まれた　日白山！……榊原　奈歩　16
＊八丈島への旅……新島　和子　17
＊夏沢鉱泉アイスギャラリー（林道敗退）→醤油樽ノ滝……長田　一樹　21
＊六甲山　芦屋川～有馬温泉……榊原　奈歩　24
＊埼玉百名山　横隈山……村上　綾　25
＊樽抜山-大仁田山……染谷　智行　26
＊大高山・天覚山（埼玉百名山）……兼堀　恵美子　27
＊埼玉百名山　官ノ倉山……山崎　正夫　28
＊埼玉百名山　阿須山～加治丘陵……井居　奈美　30
＊奥武蔵縦走№1（東吾野駅～越生駅）……一ノ宮　恵美　31
＊中山道№15（三留野宿～大井宿）……染谷　智行　32
＊谷川登山記……土屋　玲子　34
＊雪上訓練　谷川岳マチガ沢……井居　奈美　35
＊埼玉百名山　鐘撞堂山……山崎　正夫　36
＊奥多摩つづら岩……長田　一樹　38
＊埼玉百名山　皇鈴山～登谷山～釜伏山……池本　均　40
＊両見山（埼玉百名山）……殿塚　洋一　41
＊棒ノ折山……平野　祥子　42
＊丹沢モミソ沢　初沢スパイダーマン体験……榊原　奈穂　43
＊裏妙義山　丁須ノ頭……新島　和子　45
＊城山バトルランナー→西南カンテ……長田　一樹　46
＊しらびそ小屋でほっこり……宮澤　明音　48
＊埼玉百名山　笠山・堂平山・大霧山……井口　宮子　49
＊北茨城　久慈男体山（653.9）……浅井　祐子　51
＊鹿山・四又山……山口　裕　52
＊面白山・船方山……山本　理郎　53
＊奥武蔵縦走NO.2（正丸～芦ケ久保駅）……一ノ宮　恵美　55
＊城蜂山……岸野　康恵　56
＊坂戸山……森　律子　57
＊残雪期の那須・茶臼岳・朝日岳……石川　浩道　58
＊北穂高岳……畑野　順二　59
＊剣岳　北方稜線（エスケープ赤谷山～ブナグラ谷下降）……長田　一樹　60
＊西上州・木戸壁右カンテと筆頭岩（妙義山）……山崎　寧子　65
＊上信越　前掛山（浅間山）……山崎　寧子　67
＊武甲山・小持山……福田　穣治　69
＊奥多摩越沢バットレス……長田　一樹　71
＊残雪期　鹿島槍ヶ岳……山田　朗子　73

目　次

＊田沼アルプス…… 小林　いつ子　74
＊心地よい春山　恵那山…… 榊原　奈歩　75
＊八丈島（第２団）…… 下川　賀也　77
＊関八州見晴山（埼玉百名山）…… 宋　寅虎　78
＊冠岩沢…… 松田　弘一　79
＊谷川岳　一ノ倉沢中央稜…… 長田　一樹　80
＊江戸散歩・谷中　上野…… 松浦　剛　82
＊那須・ゴンドラより三本槍…… 浅井　昭光　85
＊加須クライミングカップ（ボランティア）…… 榊原　奈歩　86
……

コール

憧れの雪山へ！

岸野　康恵

雪山に行ってみたいと思い、私が草加山の会に入会したのは 2017 年 12 月でした。しかし、入会してみたものの、雪山の装備を持っていないし、何を買えばいいのか、誰に相談すればいいのかもわからず、結局仕事で例会にもあまり出席できないまま、その年の雪山シーズンは終了…。

春になり、気づけばお試し山行の黒斑山に参加して以来、どこの山にも行かずに半年が経過。久しぶりに例会に出席して、岩トレに参加することになりました。この岩トレがきっかけで、濡れるから嫌だと思っていた沢登りを始めることになり、南アルプスのテント泊縦走や、まさかのロープを使ったクライミングにも挑戦と、昨年はいろいろな経験をさせていただきました。

そして、あっという間にまた雪山シーズンへ！デビューは 12 月の谷川岳でした。雪はそんなに多くなかったのですが、おぼつかない足取りで頂上まで歩き、晴天の素晴らしい景色に感動し、肩の小屋付近では滑落停止の練習ができました。初めてピッケルを持ち、12 本のアイゼンを履いて歩くのは大変でしたが、念願の雪山に行くことができて、とても嬉しかったです。

その後も憧れの八ヶ岳で初めてマイナス 15 度を経験したり、蝶ヶ岳で初めての雪山テント泊をしたりと、初めてづくしのシーズンとなりました。残雪の那須ハイキングや鹿島槍ヶ岳などもとても楽しい山行で、良い思い出がたくさんできました。

この 1 年で山の会に入らなければ行かれないような山に連れて行っていただき、いろいろ教えてくださる先輩方や、楽しい時を一緒に過ごせる仲間たちに感謝です。これからもよろしくお願いします！

平 31(2019)年３月～令和元年５月山行実績リーダー部・機関紙部

山行	日　程	山 岳 名	リーダー	参　　加　　者
個	3/2	谷川岳(天神尾根)	浅井(昭)	平野（修)、山田、畑野（順)、松浦、宮澤
個	3/2	上州武尊	鈴木（勝）	山口（裕)、松田（弘)、山崎（寧)、岸野、浅倉、 榊原
会	3/2	越上山	出口	山崎（正)、兼堀（善)、兼堀（恵)、小林（い) 鈴木（廣)、鎌形、渋谷、森（律)、今泉、木原、 下川、平野（祥)、村上
個	3/3	谷川岳東尾根	長田	会員外
個	3/9	荒船山犬殺しの滝	山崎（寧）	
会	3/9	大高取山・弓立山	鎌形	兼堀（善）兼堀（恵）渋谷、下川、小野寺、平野（祥)、遠藤、木原、芳野
個	3/9	上越・日白山	山口（裕）	鈴木（勝)、平野（修)、榊原、岸野、殿塚
個	3/15～17	八丈島	新島	浅井（昭）浅井（祐）畑野（順）畑野（仁)、兼堀（善)、鎌形、渋谷、小野寺、杉山
個	3/17	八ヶ岳醤油樽ノ滝	長田	
個	3/18	八ヶ岳天神尾根	山崎（寧）	
個	3/20	六甲山	榊原	
会	3/23	横隈山	村上	宮澤、新島、平野（祥)、鎌形、土屋、松井、山崎（正)、殿塚、大門、尾崎
会	3/24	樽抜山－大仁田山	染谷	小林（い)、兼堀（善)、石井（美)、浅井（昭）畑野（順)、森（律)、一ノ宮
会	3/27	大高山 天覚山	兼堀（恵）	小野寺、杉山、木原、渋谷、兼堀（善)、下川福田、殿塚、芳野、阿部
会	3/28	官ノ倉山	山崎（正）	出口、山口（敏)、兼堀（善）
会	4/1	阿須山 （加治丘陵）	井居	兼堀（善)、山崎（正)、会員外２名
個	4/2	奥武蔵縦走1	殿塚	宮澤、山口（敏)、新島、大門、一ノ宮
個	4/5～7	中山道№15	石井（美）	石井（文)、兼堀（善)、兼堀（恵)、出口、今泉、 染谷、平野（祥)、鎌形、小林（い)、杉山 木原、大門、黒澤、鈴木(里)、小野寺、森(花) 鈴木（廣)、阿部、渋谷
リ	4/6	谷川岳・芝倉沢	松浦	山本、石川、山崎（寧)、土屋、殿塚、宮澤、山田

会	4/6	鐘撞堂山	山口（敏）	山崎（正）、下川
個	4/7	奥多摩つづら岩	長田	
会	4/9	皇鈴山・登谷山・釜伏山	池本	兼堀（善）、渋谷、福田、芳野
会	4/13	両見山	殿塚	山口（裕）、鎌形、宋
個	4/13	モミソ沢	沼田	榊原、石川、山田、岸野
個	4/13	裏妙義	山崎（寧）	新島、遠藤、村上
個	4/14	城山	長田	
個	4/13～14	八ヶ岳 しらびそ小屋	宮澤	土屋、青木、奥村
会	4/14	笠山-堂平山-大霧山	井口	兼堀（善）、山崎（正）、森（律）
会	4/16	棒ノ折山	平野（祥）	八並、大門
個	4/16～17	久慈男体山他	浅井（祐）	杉山、渋谷、木原、下川、出口、山崎（正）新庄
個	4/19～20	面白山	山本	和田、小宮、小野寺、石井（文）、鈴木（里）黒澤、大門、松田（武）、新島、兼堀（善）
個	4/21	鹿岳・四又山	山口（裕）	松田（弘）、山崎（正）、会員外
個	4/22	奥武蔵縦走№2	殿塚	一ノ宮、山口（敏）、池本
会	4/24	城峰山	岸野	兼堀（善）、浅倉、小林（い）、福田、森（花）出口、鎌形
個	4/28	坂戸山	森（律）	井口、浅井（昭）、浅井（祐）
会	4/28～29	那須岳	沼田	浅倉、石川、榊原、岸野
個	5/1～5/4	北穂高岳	畑野（順）	
個	4/29～5/	剣岳 北方稜線	長田	会員外
個	5/2	木戸壁	山崎（寧）	
個	5/4	浅間山（前掛山）	山崎（寧）	大門、青木、新島
個	5/4	武甲山・ 小持山	福田	
個	5/5	奥多摩越沢バットレス	長田	会員外
会	5/4～5/6	鹿島槍ヶ岳	山口（裕）	榊原、松田（弘）、鈴木（勝）、山田、岸野、殿塚
個	5/9	田沼アルプス	山本	小野寺、阿部、小林（い）、山崎（正）、黒澤、和田
個	5/11	恵那山	山崎（寧）	浅倉、新島、殿塚、森（律）、榊原、松田（弘）鈴木（勝）
個	5/10～12	八丈島	兼堀（恵）	石井（美）、石井（文）、染谷、下川、尾崎、大門、八並、木原

会	5/12	二子山 中央稜	沼田	長田
会	5/18	関八州 見晴山	浅井（祐）	松田（武）、山口（敏）、村上、森（律）
個	5/19	沢登り 冠岩沢	沼田	山口（裕）、石川、松田（弘）、岸野、榊原
個	5/22	江戸散歩	松浦	鎌形、畑野（仁）、石井（文）、小林（い）、兼堀（恵）、阿部、黒澤
会	5/24～25	木賊山・ 雁坂嶺	小野寺	山本、阿部、和田、松田（武）
個	5/25	那須･三本槍	浅井（祐）	浅井（昭）、渋谷、井口、八並
会	5/25	岩トレ	松浦	沼田、青木、一ノ宮、山崎（寧）、石川、井居 榊原、出口、遠藤、土屋、森（律）、浅倉、 鈴木（勝）
会	5/25～26	古札山― 水晶山 笠取山― 唐松尾山	兼堀（善） 四宮	鎌形、畑野（順）、山崎（正）、殿塚、新島
会	5/28	十文字山	八並	兼堀（善）、大門、福田、芳野

私の一名山　（北海道　大雪山）　　記　石井　美樹

｛山行記録よりの抜粋｝

山行記録　平成３年７月 18 日～22 日　４泊５日　テント泊
参加者　　７名（男性２名、女性５名）
　北海道登山のデビューとなったこの山行が、「私の一名山」である。
　１日目　羽田発 7：45－旭川空港 9：25－旭岳ロープウエイ 11：20
　－裏旭キャンプ場 15：45（雪原の中にテントを張る。）
　＊ロープウエイ駅の周辺は、全面花畑（チングルマ、ミヤマリンドウ等）
　＊テント場に、北キツネ、シマリス。夜は天の川。
　２日目　テント場４：20－北海岳５：45－白雲岳７：45－忠別岳 13：45
　－忠別岳避難小屋 15：20
　＊全面花畑、花を踏まずには、用足しもできない。
　＊スミレ、コマクサ、シャクナゲ、シナノキンバイ、リュウキンカ等
　３日目　忠別岳避難小屋３：00－ヒサゴ沼避難小屋６：50－トムラウシ山 11：45－ヒサゴ沼避難小屋 15：35（テント泊）
　＊花畑はつづく。エゾツガザクラ、御前タチバナ、ハクサンイチゲ、ウルップ草、
　＊トムラウシで遭遇（ナキウサギ、シマリス）
　＊歩きすぎで、足の裏が痛くなってきた。みんな、バテている。
　４日目　ヒサゴ沼避難小屋５：00（テント泊）―化雲岳 6：25－滝見台 12：20－
　天人峡 13：05（ホテル泊）
　＊花畑は終わらない。
　５日目　周辺観光

｛思い出｝
　私の経験した山行の中で、花と言えば、この北海道縦走が最高の思い出になっています。
　また、同行した５人の女性は、良く頑張ってくれました。現在、会員として残っているのは、黒沢さん一人ですが、滝見台での、涙・感激の万歳を忘れることが出来ません。

完

浅倉農園でのバーベキュー　　松浦　剛

期　日：２０１９年2月２４日（日）晴れ
場　所：朝倉農園の駐車場
実行委員：L，松浦、　**食品担当：**鎌形、染谷、宮澤、殿塚、朝倉、　**ビール担当**；沼田（地ビール購入）　**火おこし、装備担当：**石川、朝倉、
参加者：山本、和田、石井文、畑野順、森律、森花、土屋、井居、遠藤、村上、鈴木廣、松井、兼堀善、阿部、小野寺、出口、

快晴の空の下で２４人で楽しい時を過ごす事が出来ました。浅倉農園へは草加駅よりバスで２０分程掛かりますが、農園の目の前にバスが止まるので便利でした。１２時頃よりバーベキューを開始しましたが、前日から行動し肉など食品担当、ビール担当、バーベキュー設備、火おこし担当、など実行委員にお願いし、当日は参加者には野菜洗いや、野菜の刻み、などを手伝って頂き、全員で楽しいバーベキューを行う事が出来ました。中々皆さん手慣れたもので、バーベキューに慣れない私は、食べて飲むだけにしました。

イチゴ狩り風景

浅倉農園
ASAKURA FARM

浅倉農園のマーク

食料の肉や野菜は十分にあり、皆さん楽しく十分に飲み食い出来た事と思います。特にビールは沼田さんが川口の地ビール屋さんにサーバーで持って来てもらい、タンク２本を開けてしまいました。大変飲みやすい美味しいベールなので、女性も随分と飲んでおり、ジュースはほとんど出る幕が有りませんでした。帰りにはお土産のイチゴ以外に浅倉さんのお父さんの御厚意で、全員に葉物野菜をお土産に頂きました。実行委員の方々はご苦労様でした。

谷川天神尾根

記：平野　修次

◆山行日：2019 年 3 月 2 日土曜　晴れ　風なし
◆山行者：L 浅井（昭）・松浦・畑野・宮澤・山田・平野
◆コースタイム：天神平９：２０－熊穴沢避難小屋１０：２５－トマの耳１２：０５－オキの耳１２：３０－天神平１４：１５

松原団地駅 5 時半集合、渋滞も考えられるため東北道から北関東道経由で土合を目指す幸いひどい渋滞もなく土合到着。天神平ではスノーボードスラローム大会が開催されるようで協賛企業の宣伝でカッパの破れ修理、麦芽クッキーの試食などしていた。

無風快晴のぽかぽか陽気、積雪は例年より少ないように感じられた。熊穴沢の避難小屋はもう少しで屋根が出てきそうな状態でした。人が多いのでトレースもあり雪の状態も良く 2 時間半ほどで山頂に到着。トマの耳は人でいっぱい、雲一つない天気で遠くは春霞で霞んでいるが、大展望である。下りも雪の状態がよく、だんごになることもなく天神平に戻る。谷川ユテメルメで汗を流し渋滞もなく松原団地に帰り着きました。男性陣は反省会をして次回山行に備えました。

簡単に自己紹介をさせていただきます 2 月より入会いたしました平野修次 56 歳です。住まいは越谷市ですが草加市との境目近くで新田駅を通勤では利用しております。車は持っておりませんので運転は高速道路であれば可能かと（あまり自信なし予備要員、位にはなれるか？です）山登りは 30 年ほど継続してきましたが現在は早く歩けずハイキングパップの時間ぎりぎりがやっとです。ハイキング、雪山、沢その他ジャンルは問いませんので参加させていただければと思っております。土日が休みですので 1 泊のんびりテント山行にもお誘いいただければ幸いです。よろしくお願いいたします。

写真は天神尾根登りだし、オキの耳山頂、オキの耳よりトマの耳を望む

越上山　５６６M

記：出口　栄子

山行日：２０１９年３月２日
メンバー：Ｌ出口、小林い、今泉、山崎正、渋谷、兼掘善、兼堀恵、鎌形、森、平野
　　鈴木廣、下川、木原、村上
コースタイム　５，５時間
　８：０８東吾野駅着　８：３０出発―福徳寺―９：３０ユガテ９：４０―
　越上山山頂１１：１７―１１：３０分岐―１１：４０諏訪神社昼食１２：００
　―顔振峠―１３：４０黒山三滝―１４：１０黒山三滝バス停
　１４：２４発越生駅行きバス乗車、解散　　希望者は途中下車観梅

埼玉百名山ということで、コースを色々悩んだ末に東吾野駅から越生駅までの縦走で越生の梅林が綺麗な時期に計画をしました。黒山三滝も見たことがないので、皆一緒に楽しめるコースを選んだつもりです。

なにしろ越上山自体は、山頂は眺望なしの殆ど林道歩きが基本の低山。この山に登るだけなら、顔振峠に車を置いて往復２時間もかかりません。今回この３月２日の土曜日は天気に恵まれ、楽しいけれどそれなりの充足を得られる山行だったと思います。

福徳寺の重文のお堂、桃源郷のようなユガテ、その他顔振峠には茶屋もあり、秩父の山と桜を愛でながらのんびり過ごすのに最適の場所でした。黒山三滝も男滝、女滝、天狗滝と変化に飛んだよい滝でした。滝に向かう途中の下りで一本ロープがあり、私は先頭だったのでしばらく後ろを見ていると、総勢１４人ですが思い思いにロープのある少し湿った地面を下る姿は嬉しそうでとても私も楽しかったです。

今回未熟なリーダーに皆さん参加して下さり有り難うございました。

晴天の上州武尊山

記：榊原奈歩

山行日：2019/3/2
メンバー：鈴木（L)、山口裕（SL)、山崎、岸野、松田、浅倉、榊原　7 名
コースタイム：3 時間 45 分

ゲレンデトップ（11:00）-剣ヶ峰（11:35）-（12:50）武尊山山頂（13:10）-（休憩 20 分）-剣ヶ峰（14:20）-ゲレンデトップ（14:45）

直前で急遽仕事を代わってもらえることになり、無理をお願いして武尊山行に参加しました。
今日はお天気がいいぞ！！ワクワク、意気揚々と草加を出発したのは良いが、関越で大渋滞にはまり辿り着けるのか？赤城山でワカサギ釣りに変更するか？と朝からテンヤワンヤ、ハラハラ、ドキドキで予定より 2 時間半遅れで 10:20 無事駐車場に到着しました。16:00 の下山に間に合うのか、急いできたいところ登山届のチェックが厳しく入ります。

今日はリーダー鈴木さん、サブリーダー山口さんで、なんとも心強いお 2 人のサポートの中、浅倉さんが本格雪山デビュー戦です。
リフトを 2 本乗り継ぎ、剣ケ峰を目指します。しょっぱなからの急登に朝倉さん足が思うように運べなかったりもしましたが、リーダーのサポートの中無事全員で剣ケ峰に。

剣ヶ峰からの降下は、慎重に。リーダーの勝さんが降下の仕方やピッケルの使い方を丁寧に指導してくれました。
風雪が強い山で、海老の尻尾やモンスターもどきなど見所満載の造形物、山の綺麗な稜線に心を奪われながら山行を楽しみます。
谷川や上越の山々が目の前に広がり圧巻、青空に武尊山の白い稜線が映えます。
無事全員で登頂。
下山時にはサブリーダーの山口さんの指導で、トレースのない急登の上がり方を練習。側筋が攣りかけますがいい体験です。
下山後、いこいの湯で汗を流し、たんまりご飯を食べます。勿論、全員完食！！恐るべし食欲。
さらに谷塚で浅倉さんプロデュースの 2 次会スタート。沢山おしゃべりをして、おいしいものを沢山食べ、お土産付き！となんとも濃厚な一日でした。
皆様ありがとうございました。

谷川岳　東尾根

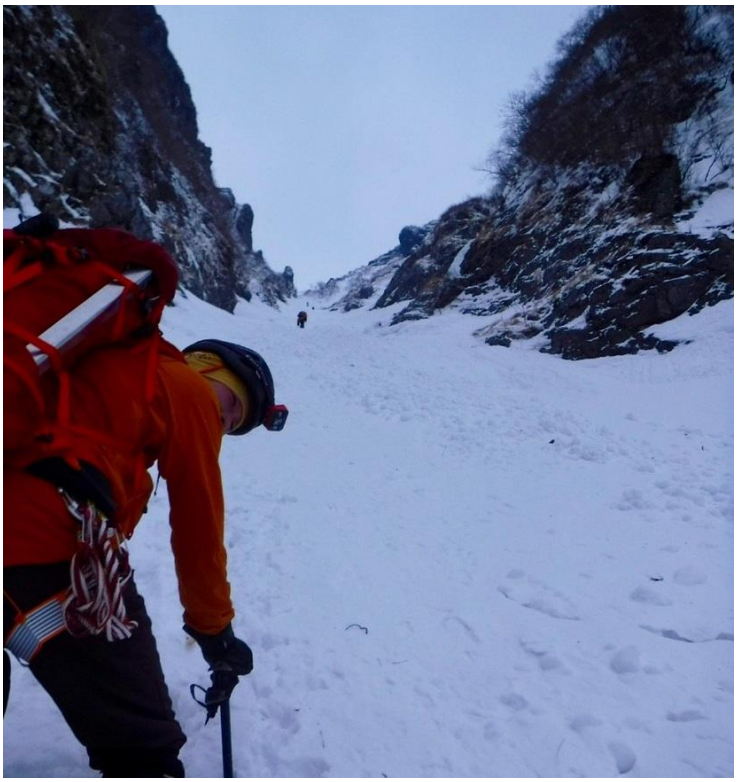
長田　一樹　会員外

3/3　4:40 谷川岳 RW 駐車場→5:50 一ノ倉沢出合い 6:00→6:10 一の沢出合い→7:30 シンセンのコル 7:35→第二岩峰→ナイフリッジ→9:40 第一岩峰→10:03 国境稜線オキの耳 10:15→10：25 トマの耳→10:30 肩の小屋→10:50 天神尾根途中大休止 11:05→11:30 ロープウェイ乗り場→11:55 谷川岳 RW 駐車場

今年は、北岳行ったきりで雪山登っていないなぁと思っていた所、谷川の東尾根行くから行かないと誘われたので二つ返事で行って来ました。
土曜日の方が天気良かったので、土曜日に自分抜きで行って貰っても良かったのですが、折角だからと合わせてくれたメンバーに感謝です。
今回誘って頂いた M さんが冬季東尾根経験済みだったので、お任せさせていただきました。

夜に入れる、一階の駐車場は結構な数の車が停まっている(汗)天気悪いし、今日は空いているだろうと思っていたのだが、甘かったかと…そそくさと用意して 4:40 駐車場を出発、指導センターに登山届提出して、未だ夜が明けない中、一ノ倉沢出合いを目指す。

ヘッデンで林道を歩いていても、4 月の上旬？という感じで、雪が少ない。
マチガ沢の出合いを過ぎても同じ…一ノ倉沢出合いに着くと、まだ暗い中ヘッデンで沢山のクライマーが一ノ倉沢に入っている。既にシンセンのコルに居るパーティーも！テールリッジを登っているパーティーは中央陵だろうか？本日メンバーの会でも谷川のバリエーションに 2 パーティー入っているそうなので、この時点ではかなり混むなと覚悟していました。



シンセンのコルまでは兎に角、急登なので我慢で直登(汗)一ノ倉沢も一の沢もデブリはあったが、それほど大きくなく、量もそれ程では無くて少し安心したが、念の為ビーコンのスイッチはオン！左方ルンゼは見えただけで 4 パーティー入っている。傾斜もそれ程無さそうなので、自分も何時かと思いつつ通過。そこから 20 分くらいでシンセンのコルに到着。ガスガスで時折雪がチラつき展望は良く無いが、風が強いので、時折ガスが流され薄日が差すと、周りや近くの景色も楽しめる。
遠峰と切れ落ちた足元の近景を楽しみつつ、一休みしたいが、アチコチにトイレ跡がありゲンナリしてくるので、休憩もソコソコに再スタート、第ニ岩峰は稜線上の雪の付き方が悪いようで、ほぼ全てのパーティーが一ノ倉沢側を巻いている。我々も巻くが、表面はクラストしていて、中の雪がサラサラで締まってないのと草付きというか熊笹の上に乗った雪が崩れて嫌な感じ(汗)、これはチョット苦戦するかもと思い直す。結局第一岩峰は全て巻く形に、上部の雪壁はダブルアックスとアイゼンでフルに四肢を使い登る、第一岩峰の上部ではグライドクラックか？が横に広がり、上部と下部が繋がっていないので、シンセン側の繋がっている所から乗り越すのだが、雪の状態が良くないのと落ちたら、シンセン沢へまっしぐらなのでチョット緊張する。少し平らになったかと思った所から先が、良く写真で見る、雪庇がシンセン側に大きく張り出した。例のインスタ映えする(笑)トラバースです。今回はガスっているので高度感がハッキリしませんが、時折晴れた時に背中側を覗き込むと、一ノ倉沢へストンと落ちる急斜面が見えて大事な所がヒュンとする感じが味わえます(笑)長いトラバースを終えて、少しクライムダウンで下がってから第一岩峰へ、コチ

ラも直登せずに雪面通しで進みます。上がったら大きな岩の影で小休止。チョット食料と水分補給して、自分だけハードシェル着てなかったので、シェルの上だけ着てから頂上直下の尾根へ出ます。
雪庇の張り出しが弱く、また雪の量も少ないので雪面通しには行けない、草付きと岩と雪のミックスを直登する事にして、此処で持ってきたロープを漸く出す事に！折角買ったばかりのロープを持って来たので、曇りだが陽の目が当たって嬉しい。

トップは M さん、セカンドに O さんが入って、自分は最後。三人共サクサク登って、雪庇超えたらオキの耳の所！？アレって感じで終わりでした。

天候イマイチだからか他の登山者も居ないし、ガスって展望効かないってか、ほぼホワイトアウトなので、先行 P も既に下山した模様です。全員で握手して写真撮って、折角だからトマの耳にも寄る、肩の小屋あたりは未だ風も強くガスっていたので、もう少し下がった所で、休憩しようと天神尾根を下る。

昨日は晴れていたから沢山の登山者が入ったみたいで、コースは踏み固められてアスファルトのようにカチンコチンで膝に来る、登ってくる人も多く、面倒なのでコースの右側に外れて歩いていると、後ろからボーダー3 人がガリガリ言わせながら降りてくる。西黒尾根の南側斜面は土が出て、雪が全て剥がれている所もチラホラなので、西黒沢や熊穴沢の状態が今ひとつなのだろう、ボーダーに道を譲って、もう少し歩いたら休憩、12 月に来たときよりは雪はあるけど、既に 4 月の装いの感じで(汗)来月の雪上訓練出来るかなと不安になりながらも再び下山は嫌いだ、歩きたくないなぁと愚痴りながら、ロープウェイ駅に 11:30 到着。歩きたくないのでビッグエイドで駐車場へ！

混んではいましたが、極端に大人数や遅いパーティーが居なかったので、国境稜線までスムーズに抜けることが出来ました。あと曇で風があったので、晴れて気温が上がるよりは雪の状態が幾らかマシだったのだと思います。

東尾根が思っていたより呆気なかったのは、ガスっていて高度感をあまり感じず、トレースもあり、リーダーで無かったと言うのもある

かもしれません。ただ全体を通して白馬主稜の最終ピッチよりは確実に緊張する感じですし、何か一つチョンボをして滑落したら絶対に止まりません。一ノ倉沢又はシンセン沢にまっしぐらなので、やはり雪上訓練は SAB や滑落停止より、地味なアイゼンワークだなと肝に命じ直した山行でした。

埼玉百名山　　大高取山・弓立山

記：鎌形　瑞枝

日　　時・・・2019 年 3 月 9 日
メンバー・・・L.鎌形、兼堀(善)、兼堀(恵)、渋谷、下川、小野寺、遠藤、木原
　　芳野、平野
コース・・・・南越谷 6：55―7：16 北朝霞・・朝霞台 7：32―7：58 坂戸 8：02―
8：24 越生駅 8：34―9：00 桃木 9：15・・10：15 弓立山・・12：00 越生梅林・・13：15 大高取山・・14：40 越生駅

心配した天気は上々で気持ちの良い出発となりました。バス停からは頂上が木のない禿山に見えました。直に弓立山登山道となり、冬枯れの落ち葉のトレイルをゆったり、まったり行きました。男鹿岩という見事な岩があり登って記念撮影。弓立山は山頂が開けていて、市街地がよく見えました。人口植林を抜け、林道、植林、農家の一角を、ピンクリボン頼りに車道に出る。大きなさぼてんのある農家のおかみさんと立ち話。少し下ると、道端でみかんを振舞って下さるミカン農家あり。頂いたついでに破格値で分けてもらう。ビタミン C を補給して梅林に向かう。車道の両サイドは満開の梅林で、越生梅林に行かずとも、十分堪能できました。彼岸サクラ、見事な黄色のサンシュユ、ふきのとうも見えました。越生梅林付近は多くの車、人でいっぱい。

入場料口を無視し、対岸で梅林を見ながら昼食。歩道のない車道を抜け、大高取山登山道へ。振り返ると、梅林が見事です。1 時間弱で大高取山。たくさんの切り株有で休憩。ミッション終了。下って越生駅へ、お疲れ様でした。里山歩き大好きになりました！！！

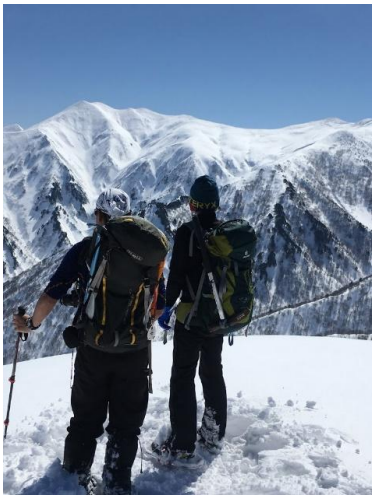
360 度 雪山に囲まれた日白山！

記：榊原奈歩

山行日：2019/3/9
メンバー：山口裕（L)、鈴木勝（SL)、殿塚、平野修、岸野、榊原　6 名
コースタイム：8 時間（休憩 1 時間 20 分）

二居登山者駐車場 6:40-7:40 二居峠 7:50-9:50 東谷山 10:05-11:25 日白山 11:50-12:30 二居俣ノ頭 13:00-14:40 二居登山者駐車場

週末はお天気が悪いので、夜出日帰りに変更 6 名 日白山にいきました。
雪洞泊は来年までお預けですが、雪山日帰りのロングコースを少ない情報ながら地図や地形をみて予習をする、自身でコースイメージを考えるには非常に良い機会でした。
リーダーの山口さんお気に入りの山、雲一つない天気、ふかふかの雪、たおやかな稜線、雪庇、不都跡のない雪が私たちを迎えてくれます。



6 名で先頭を交代し体力を維持ながら、プチラッセル、途中 16 名の山岳会山行の方を抜くとややラッセルがきつくなりつつ前へ進みます。
進むスピードや、足の置き方、ワカンの調整などリーダー、サブリーダー、参加メンバーの皆さんが目を配ってアドバイスをしてくれます。

後ろを振り返ると、ずらりと 30 名以上続いています。どうりで、ラッセルがきつい訳です。
そんな時でも前、横、後ろに綺麗な山が微笑んでくれます。あー、来てよかったと思う瞬間です。
東谷山までは山岳スキーの方が先頭にいたため、トレースがありました。
その先はトレースなし。膝下程度でしたが本格ラッセルです。
山口さん、ラッセル凄いです。他メンバーの皆さんも強いですね。私が一番ヘタレです。途中、16 名の山岳会メンバーのうち強者 8 名程度が私たちの前に行きラッセルをしてくれました。みんなで交代しながら山頂に向かいます。

山頂では、青空、360 度 雪山、山、山、山~。山に囲まれて幸せ！！の一言です♪
青空のもと苗場山、平標山、谷川岳、旭岳、越後駒ケ岳などなどが目の前に。
下山は踏み跡のない急斜面を下ります。これがまた楽しい！！
8 時間の山行でしたが時間があっという間でした。来年はタカマタギから日白山に来ようかとのこと。今から来年が楽しみです♪素敵な山行ありがとうございました。

八丈島への旅

記：新島　和子

○日程　2019.3.15～3.16
○メンバー　L新島、浅井（昭）、浅井（祐）、畑野（順）、畑野（仁）、兼堀、鎌形、小野寺、渋谷、杉山
○コース　八丈富士（16 日）
登山口 8：30→火口分岐点 9：50→お鉢巡り→火口分岐炎 10：05→登山口 11：30

夫の転勤に伴って平成 4 年 8 月～6 年 7 月の 2 年間、伊豆大島に暮らしていました。
まだまだ若かった私は島に暮らすということに魅力を感じることが出来ず、ふて腐れた日々を送っていました。今、思うともっと違う暮らし方があったのではないかとちょっぴり残念に思います。八丈島は大島とは全く違う空気に包まれた島です。若い人が多く活気に満ちている気がします。数年前、友人と観光で訪れた時に是非とも草加山の会の人たちと美味しいお酒、海の幸、山の幸を頂きたいと心にずっと秘めていました。やっと念願がかない参加していただいた皆さまには感謝です。
変わりやすいお天気の翻弄されながらもそんな天気さえも楽しめてしまうそんな「八丈島への旅」でした。また行きたい、今度はテントで！
参加していただいた皆さまにコメントを頂きました。ありがとうございました。

八丈島には 45 年前の若かりし頃に行ったことがあり今回楽しみにしていました。
東海汽船はあの頃と全く違い、多少の荒波でも揺れは少なく快適な船旅が出来ました。
45 年前は民宿でおばちゃんとのお喋りが思い出だが、今回はオシャレなバリ風のリゾートホテルで大変気に入りました。初日はレンタカーで雨の中あちこち観光し、夜は海の幸でお酒を酌み交わしました。料理も八丈焼酎も美味しかったな～。

二日目は好天の下、八丈富士登山。1200 段の階段を登るといわれていたが、脇にスロープの歩道があったので助かった。山頂からは見渡す限り海、海、海…です。
新島さん、楽しい計画ありがとうございました。
(浅井て)

神津島の天上山、大島の三原山に続く伊豆諸島の山旅。東京から約 300k 南の「八丈島」に詳しい新島さんにおねだりして計画して頂きました。標高 854mの八丈富士は最後の噴火から 400 年以上経過していることもあり、樹々に覆われ美しい姿で私達を楽しませてくれました。中腹の牧場では出産ラッシュの時期らしく、生まれたての子牛達に癒されました。
往路は大型船、帰路は飛行機、とても夜行 1 泊の旅とは思えぬ程の充実さでした。(祐子)

八丈島と聞いて行きたい！滑り込みセーフで参加出来ました。船旅も本当に久し振りでした。八丈島の目まぐるしく変わるお天気の凄さ、暖かい筈の
島で味わった強風・豪雨・雷・稲光・バラバラと雹が降り出し、一瞬の内に見事な青空！
どれをとっても忘れられない思い出に残ります。八丈富士は 1600 数段の階段から始まったが、お鉢巡りの見晴らしの良さで全てがオッケーでした。豪勢な宴会・宿も素敵で楽しかったで～す。皆さん本当に有難う～（小の寺）

静かな船旅、八丈島の静けさ、八丈富士からの眺め、お天気の七変化、どれをとっても、素敵な山行有難うございました。（渋谷）

初めての八丈島、船は雑魚寝と聞いていたが、
１０名部屋で仕切られていた。それと
１０時間の船旅で船酔いが心配だったが、横揺れさほど気にならなく船酔いもしなくてすんだ。
　翌日八丈島上陸、あいにくの雨で昼頃には霰が降って来るしまつ、天気の変化にびっくり、
夕食は梁山泊でお寿司はじめ八丈料理に大満足、
翌日本命の八丈富士を登頂し、
お鉢巡りも体験でき眺めも最高であった。
　新島リーダーが事前に調査して頂いていたお陰でスムーズな観光・山行が出来た、ありがとうございました。　（兼堀善和）

怪我をして予定していた山行をすべてキャンセルし、八丈島も行けないだろうと諦めていましたが「観光だから、車だから大丈夫行こう」とリーダーの言葉に甘えて皆さんにお世話をかけながら行って来ました。
1 日目はお天気と喜んでいたら下船すると雨がポツポツ降り出し、それからは豪雨になった
り止んだり雹が降ったりと目まぐるしく天気が変わり観光とドライブの日となりました。
ホテルもアジアンテイストで素敵でした、リーダーおすすめのお店の料理も美味しかった
最後の島寿司は最高でした。
2 日目はお天気みんな山に登れて良かったですね、私は近くの牧場で留守番です。

昔はジャージー牛だったそうですが今は和牛です。前日に生まれた赤ちゃん牛もいて可愛い、でも一頭だけジャージー牛がいました、ここで余生を送るそうです。
みんなが帰ってきたころまた雨が降り出しました、島の天気はあてにならないようですよ。
最後に温泉と裏見ヶ滝に行きました、滝までは少し登り下りの道を自力で歩いて見に行けたことが嬉しかったです。
松葉杖をつきながらの八丈島行きは忘れられない思い出になりました。
そして連れていってくれた皆さんに感謝です、ありがとうございました。（畑野仁美）

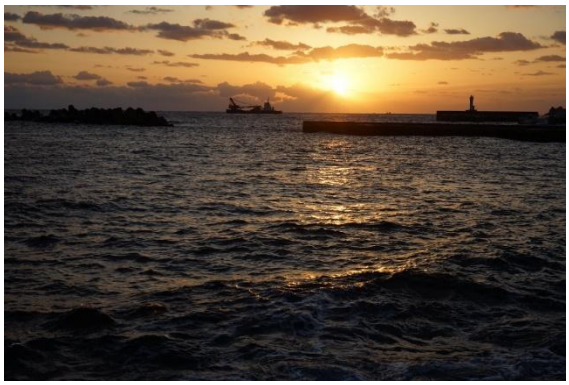
昨年から急に、どこでもいいので島に行って美味しい魚料理が食べたくなり、八丈島への計画が出て参加させて頂きました。
八丈島では、八丈富士登山・観光・温泉となって言っても梁山泊での美味しい料理とお酒を楽しむことができました。
新島さんリーダーお疲れさまでした。感謝しております。
参加者皆様、ありがとうございました。　（畑野順二）

海あり県から海なし県に住み、海を眺めるのはやはり気持ちが落ち着く。
移動していて気になったヤシの木はフェニックス・ロベレニーというものだった。
鉢物や、切り葉として出荷。国内シェアは 100%に近い。島の主な産業は、観葉植物、ラン、アロエ、花弁園芸、漁業、焼酎、黄八丈との事。
　玉石垣、同じ大きさの石が海辺にあったとは。その昔、流人が丸石 1 個運ぶとおにぎり 1 個貰えたという話が残っているそうな。色々な八丈島を堪能できました。企画して下さり感謝です。　（鎌形）

島への船旅は、いつも私をワクワクとさせ、期待感をつのらせてくれる。20 歳の青春時代に行った利尻島・礼文島。新婚旅行で行った与論島・沖永良部島。それらの思い出は心の奥に大切にしまってあった。山の会に入ってから屋久島の宮之浦岳を計画し、また私の中の島への憧れに火がついた。
最近は伊豆七島に行く計画をたて初めに神津島、そして大島への山旅を企画して実行した。やはり、船で行く旅は素敵で楽しかった。新島さんが八丈島を計画してくれて、よろこんで参加させて頂いた。一日目は天候不順のため八丈富士は翌日に期待した。レンタカーで島めぐりをした。私のお気に入りだったのは「八丈富士ふれあい牧場」と草を食む牛たち。南原千畳岩海岸、みはらしの湯からの広大な海。宿泊したホテルはホテルシーピロスというまるでバリ島に泊まっているような雰囲気の家具、調度品が素敵だった。そして、その夜の梁山泊というお店の郷土料理。大きな金目鯛の煮付、地元のお刺身、島ずし、初めて飲んだ明日葉ビール、何と美味しかったことか。
新島さん、お疲れさまでした。そして皆さん素敵な思い出をありがとう。　（杉山）

大里の石垣
2019/03/17 16:43

2019/03/16 15:06



夏沢鉱泉アイスギャラリー(林道敗退)→醤油樽ノ滝

3/17　　L:長田一樹　会員外

8:40 桜平下駐車場→8:55 醤油樽ノ滝入り口→9:40 醤油樽ノ滝 10:00 アイスクライミング 14:15 撤収 14:30→14:40 下部 3mバーチカル滝休憩含む 15:45→16:50 桜平下駐車場

まさかの桜平上駐車場へのオンサイト失敗(汗)　轍を整地したりして、レストして３便程出すが、レッドポイントならず(TдT)スコップはあるがチェーンを携行し忘れていたので下駐車場に変更…ﾄﾎﾎ　4WD スタッドレスでもチェーンは必須アイテムです！！

車内にてスマホで情報収集すると、ここからだと夏沢鉱泉まで一時間半強のアプローチが必要で、更にそこから 30 分ちょっと必要なのでトータルで 2 時間半は歩かないと辿り着けない事が判明(汗)ゲレンデ行くのに、そんなに歩きたくないのでアッサリ醤油樽ノ滝に行き先変更する。

3 月初旬までの雪不足は何だったのか？というほど最近降ったようで林道は勿論の事、醤油樽ノ滝への入り口から既にモフモフ状態です。

林道から沢に入る所で、チェーンスパイクからアイス用のアイゼンに履き替え、沢沿いをテクテク歩き、漸く醤油樽ノ滝に到着、部分的に立っている 35m程の高さがある立派な滝だが、傾斜はそれほどないので練習するには良い所だと思います。ただロープは貼れても 3 本が限界なので沢山人が来てしまうと登る所が無くなってしまいます。

一番乗りなので、氷の状態が比較的良い最も左のルートを登ります。此処は左側の岸壁がハングしているお陰で、日陰になっているので雪も掛からず氷の状態も良いです。と又も問題発覚？！上に抜けて上部の支点を使用するとなると 60mロープが必要で、夏沢鉱泉用に持ってきたロープは 50mシングル(汗)取り敢えず、ロープ半分まで登りスクリュー3 本で支点作ってトップロープを張り降りて、メンバーと後から来た 2 人パーティーの方と相談したら、2 人パーティーの方は右側登りたいので大丈夫との事、後続パーティーが来た時点で考えようとなり練習開始。途中氷の状態があまり良くないのと雪降り出したので更に下部にトップロープ支点作成し直したりしつつ、ルート変えて登ったり右側ルートのロープ貸していただいたりして色々登り、トップロープだし足ブラになるまで攻めて終了。支点回収するのに V スレッドだけだと怖かったのでクルクルポン（回収可能アイススクリュー）も組み合わせて懸垂下降して無事スクリューも回収できて終了。帰りにバーチカルな 3m位の滝でリードとトップロープで遊んで駐車場に戻りました。コチラは短くてもバーチカル（汗）既に腕も売り切れていて１テン(TдT)

尖石温泉 縄文の湯で温泉入って、定食屋さんだと思って行ったらオシャレな農家風お蕎麦屋さんで（汗）焦りましたが（笑）美味しく食べて戻りました。
未だ登れると聞いて、今シーズン最後のアイスと思い行って来ました。ゲレンデでしたが

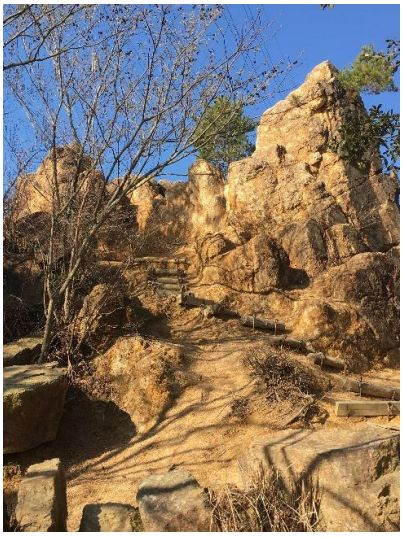
回数登る事で、各種アックスのコツも掴めたし、回収可能アイススクリューなど色々と試したい事も出来て充実したアイス納めでした。ただコノ時期は既に氷も不安定で、上部や右側の陽が当たる所はかなり脆くて 30 センチ四方で厚さ 10 センチの塊が一気に剥がれたりしたので注意が必要です。実際に落石があった左側岸壁の岩の状態も良くは無いので重ねて注意が必要です。

冬季に桜平上駐車場や赤岳山荘まで行く場合は、4 WD スタッドレスでもチェーンを付ないと凍結で痛目にあいますのでご注意を！！

六甲山　芦屋川～有馬温泉

山行日：2019/3/20
メンバー：榊原　1名
コースタイム：5時間
芦屋川（7:00）-芦屋ロックガーデン（7:20）-風吹岩（8:10）-雨ケ峠（9:05）-一軒茶屋（10:10）-六甲山最高峰（10:25）-（休憩10分）-有馬温泉（11:50）

神戸出張が決まってから、是非一度足を運びたいと以前から思っていた六甲山の計画をひそかに立てていた。天気も未知数なところダメなら観光しよう！と割り切って、宿と交通の手配をする。
いつから、出張につなげて代休を取り山行をするようになったのだろう。
幸い天気は晴予報。恒例のように三宮のコインロッカーに荷物を入れて、電車で芦屋川へ、超高級住宅地を横目に登りだしを開始する。
平日ともあり人は少ないが、ロックガーデン入り口でよく六甲山に入る男性と話をした。コース状況を丁寧に説明してくれる、イノシシに要注意と。
風吹岩までの道のりは神戸港から汽笛を背中で聞きながら花崗岩を登る道、しかし獣臭が漂っている。芦屋の高級住宅地のすぐそばにイノシシが生息しているのだ。横に目をやればコバノミツバツツジがピンクの蕾をつけている。今日はとても暖かい、もうすぐ花が咲き乱れる季節となる。



風吹岩につく。「ただひとりとかげ極めこむ日もありて物音絶えし岩場なりしか」富田砕花の詩。本日は平日、非常に静かで風吹岩独り占めです。
風吹岩を超えると地質が変わる。春の日差しを感じながらのハイキングはいいものだ。
六甲山最高峰からは、神戸港、瀬戸内海、淡路島、紀伊半島が霞がかかって見れる。
紀伊半島、行きたい場所があるなー、とまた違う山行計画を考えたくなる。
最高峰からは一路有馬温泉へ。ここからは非常にやさしいハイキングコースになる。すれ違う人の数が圧倒的に変わる。寒椿が綺麗に咲いているのを見ながらアッという間に有馬温泉へ。金の湯で汗を流して終了。銀の湯にも入りたかった・・。
松浦さんのロックガーデンへの素敵な思いをお聞きしていました。あーなるほど！と思いながら山行を楽しみました。

埼玉百名山　横隈山

記：村上　綾

○日程　２０１９年3月２３日（土）
○メンバー　Ｌ村上、宮澤、新島、平野、鎌形、土屋、大門、殿塚、尾崎、松井、山崎（正）
○コース　野上駅８：３０→出牛峠９：３５→登山口１０：３０→横隈山山頂１１：１５
→更木バス停１２：４０→カタクリの里１３：３０

前日の暖かさから一転、朝は雹が降り、ちょっとお天気を心配しながら草加駅を出発しました。スカイツリーラインの羽生駅から秩父鉄道羽生駅への乗り換えが４分しかなかったですが、参加者みんなでダッシュして、無事に乗り換えができました。

野上駅からしばらく車道歩きをしてから、林道を経由しやや荒れた山道に入りました。秩父事件ゆかりの出牛峠を過ぎると、梅の花や池のカエルの卵など春を感じることができ、ハイキング気分で歩きました。集落をぬけるとまた車道歩きが続き、野上駅から２時間でようやく横隈山登山口に着きました。登山口には、手動の登山者数カウンターがあり、私たちは４０６～４１６番。今年度に入ってからの数なのか、３月の登山者数なのかは不明でした。秩父鉄道ハイキングのイベントの矢印がたくさん表示されていて迷うこともなく、沢沿いの道やスギ林を抜け急登を行くと、車道が横を通り、ちょっとがっかりしながらも、ひと登りすると眼前に群馬県の鬼石の町や赤城山が見えました。そこから、ほんの少し歩くと、ついに横隈山の山頂に到着！ミッションを達成しました。山頂は風が強く、冬の寒さでした。下山は、神流湖（下久保ダム）を横に眺めながら下り、更木バス停に到着しました。登山口から下山まで、横隈山を目指す登山者に１人も出会うことなく、ガイドブック通り「渋好み」の山を実感しました。更木バス停から車道を５０分歩くと、浦山カタクリの里に到着。カタクリの花はまだ咲き始めたばかりで、大群生とはいきませんでしたが、ひっそりと咲く姿を見ることができました。

初めてのリーダーで、ドキドキの山行でしたが参加者の皆様がとても温かくサポートしてくださり、感謝でいっぱいの一日でした。ありがとうございました。

楢抜山【553m】，大仁田山【505m】

記：染谷

１．日　時：２０１９／３／２４（日）

２．参加者：Ｌ染谷智行，石井美樹，兼堀善和，浅井昭光，
　　畑野順二，森律子，小林いつ子，一の宮恵美（お試し）

３．コース：JR 武蔵野線南越谷 5:52 発----秋津乗換え→飯能より名郷行ﾊﾞｽ(7:11－7:40)
→川又名栗湖入り口(8：24-8:35)→尾須沢鍾乳洞(8：50)→楢抜山(9：40)→
天狗積(10:00)→三本松(10：22)→加久良山(11：26)→赤沢ﾊﾞｽ停(11：54)→
大仁田山(13：00)→上赤沢ﾊﾞｽ停(13:45) →飯能駅→南越谷(16:00)打ち上げ

埼玉１００名山　№.９楢抜山、№.10 大仁田山のリーダーを会長から指名を受けた。
ガイドブックを見ると全山植林した人口林、杉、ヒノキ等で眺望絶無、一般ルートではなく荒れた山で読図トレーニングに特化した尾根歩きと記されていた。
積極的に参加者を募るわけにもいかず、それでも８名での山行となった。

楢抜山山頂

大仁田山山頂

飯能駅よりバスで川又名栗湖入り口で下車、名郷方向への車道を進み尾須沢鍾乳洞へのしっかりとした道を行く。鍾乳洞の岩壁には、数パーティのクライマーがトレーニングしていた。ここから楢抜山へ道は、あまり踏まれていないようであった。常緑樹の杉、檜の中で赤テープと地図でルートを確認しながら楢抜山の頂上を踏むが展望はなかった。下山路は、三本松、加久良山の小ピークを踏み大仁田山への登山口、赤沢ﾊﾞｽ停へと向かう。車道を進みバス停を通過し大仁田山登山口から入りピストンした。大仁田山も楢抜山同様植林した山で視界はなかった。途中であった人は、各山　１名でした。
埼玉１００名山、リレー登山２山実行しました。参加者の皆様お世話様でした。

以上

大高山～天覚山(埼玉百名山)

記：兼堀恵美子

★山行日・・・３月２７日（水曜日）
★参加者…Ｌ兼堀（恵)、兼堀（善)、澁谷、杉山、小野寺、木原、下川、殿塚、福田、阿部、芳野
石井（文)、山本　　１３名
★コース
南越谷６：３２＝新秋津・・秋津＝飯能＝吾野着８：１５
吾野８：３０～前坂～大高山１０：１５～天覚山１２：００（昼食）～東吾野駅１３：４５
東吾野１４：１５＝＝＝南越谷

晴天の日、埼玉百名山２座を１３名で行ってきました。予報では気温１９度になると言うので
ちょっと暑いかなぁと思っていましたが登山道はずっと樹林帯で少々汗ばむ位で丁度良い登山ができました。墓地の横の登山口からまずは大高山へ・・・しばらく急登でしたが予定通りの時間に前坂に着きました。それからは露出した木の根や岩の登山道を少し緊張しつつ登っていきました。巻き道をなるべく選んで行ってたのですが、最後に失敗！どんどん下がって離れていく感じに・・後方の人から指摘され調べてもらい、やはり道違いで戻ることにしました。作業道の様でした。メンバーに助けられましたが、低山の道迷いを体験してしまいました。それからすぐに大高山山頂到着！
大高山から天覚山まではいくつものピークがあり、山頂へはやっと辿り着いたと言う感じでした。
山頂は大高山より広くベンチもいくつかあり視界も良く、ランチするには最適でした。ゆっくりランチをして下山は尾根コースを急下降して東吾野駅まで行きました。今回の大高山～天覚山コースは低山ながらアップダウンが多く道迷いもし易い山だという印象です。メンバーに助けられながらの山行でした。ありがとうございました。

＜大　高　山＞

＜天　覚　山＞

埼玉百名山　官　ノ　倉　山　(344m)(埼玉県小川町)

記：山﨑 正夫

【日　程】2019(平成 31).3.28(木)

【天候】晴れ

【ﾒﾝﾊﾞｰ】Ｌ．山﨑正夫、出口栄子、山口敏雄、兼堀善和

【ｺ ｰ ｽ】草加駅 6:07→6:11 新越谷駅→6:17 南越谷駅→6:39 北朝霞駅→6:47 朝霞台駅→7:40 小川町駅　7:50 発～9:20 安戸集落登山口～10:10 官ノ倉山 10:35～10:55 天王池～11:05 三光神社～11:25 吉田家住宅～12:10　蕎麦処「勝呂」昼食 13:15～国道交差点～13:58 前金勝山～14:14 金勝山～14:55 東武竹沢駅 15:14～15:17 小川町駅 15:23～16:11 朝霞台駅～16:15 北朝霞駅～16:36 南越谷駅～16:43 新越谷駅～16:47 草加駅

【経費】電車賃　170+390+650+720+390+170=2,490 円

気候の良い春の内に担当している埼玉百名山を歩いておこうと、総会前の 3 月 28 日に官ノ倉山に行くことにした。担当している同じ小川町にある仙元山には前年の５月２７日に小川町駅から武蔵嵐山駅への経路を３人で歩いている。

駅から街中を通って登山口まで行く道は解りづらいが、今回は今までにはなかった立派な官ノ倉山の標識に助けられ、ずんずん歩いた。しかし、どうも様子が前と異なり確認すると、安戸集落登山口に向かっている。こちらの登山口から登ることにする。参加者は心の広い人達で、登山口が変わったことについて一言も文句を言わず、景色を楽しみながら登山口に向かう。集落の中の、路地みたいな登山口に到着。そこから、途中、本来の登山口からの登山道と合流して、４０分で官ノ倉山山頂に達する。

暫し景色を楽しみ、勝呂集落に向かって歩き出す。途中、景色の良い溜池の天王池、続いて三光神社を経由して、吉田家住宅に着く。この住宅は国指定の重要文化財で、県内最古の民家。町で管理していると思っていたら、現在も吉田家の方々が管理している

とのこと。建物維持に多大な経費が掛かり大変なことだと思う。お茶を御馳走になり、室内、２階も見学し、ここから程ない所の昼食を予約してある蕎麦処「勝呂」に行く。前回、官ノ倉山に５人で来た時も、ここで昼食を摂る予定であったが、関係者のお葬式が急遽入り、山行の前日にお店から御断りの電話をいただき、立ち寄るに止まった。今回は旧知の仲好４人娘組と無事会うことができ、再会を楽しんだ。登山口を違えてしまったお詫びにアルコール飲み放題にさせていただいた。

このお店では最近では珍しくビールは大瓶で供給している。慎み深い皆様、大瓶３本だけを飲み、次の金勝山に向かう。前日も会山行に参加していた兼堀氏は直接東武竹沢駅に向かい先に帰ることになった。国道、鉄道を渡り金勝山に向かう。金勝山には少年自然の家がある。前金勝山を経由して金勝山山頂２６４ｍ に達する。ここから一路東武竹沢駅に向かい、平地に至る。

埼玉百名山《阿須山~加治丘陵》　　記：井居　奈美

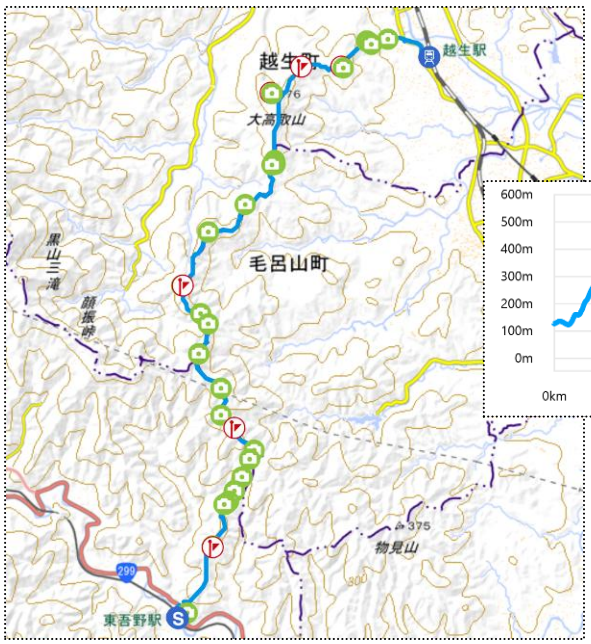
〈山行日〉2019.4.1
〈メンバー〉L 井居、兼堀、山崎(正)、会員外 2 名
〈コースタイム〉
8:45 南越谷集合、仏子駅 10:20→阿須山 11:00(昼食)→桜山展望台→元加治駅 12:50

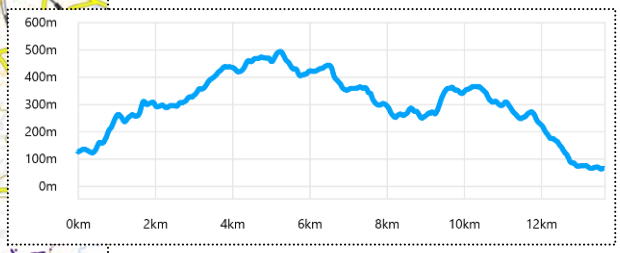
兼堀さん、山崎(正)さんのご協力のもと、初めてリーダーを務めさせていただきました。標高 188m 程の山ですが阿須山には二等三角点があり、地理的に重要な場所であると教えられました。
正夫さんのご友人がとても豪華なお弁当を作ってきてくださり、早めの昼食。その後桜山展望台を経て元加治駅へ下りました。(予定していたトーベヤンソン公園は休園日でした)
ちょうど桜満開の時期でお花見を兼ねたハイキングとなり、楽しい一日を過ごすことができました。
兼堀さん、正夫さん、ご指導ありがとうございました。

奥武蔵縦走 NO.1 〈東吾野駅～越生駅〉

一ノ宮恵美

■山行日：2019 年 4 月 2 日(火)
■参加者：L 殿塚・山口(敏)・新島・大門・宮澤・一ノ宮
■往路：南越谷駅 6:32－7:06 新秋津駅(歩)秋津駅 7:18－7:47 飯能駅 7:53－8:08 東吾野駅
■コース：東吾野駅 8:21－9:00 橋本山－9;15 ユガテ地区―9:35 エビガ坂－9:44 茶之岳山 9:56－10:00 五六峠―10:37 カイ立場―11:02 鼻曲山 11:10－11:45 天望峠－12:00 桂木観音 12:35－12:58 大高取山 13:10－13:25 根っこ山－13:35 西山高取 13:49－14:00 世界無名戦士之墓 14:15－14:36 越生駅
■復路：越生駅→南越谷駅
■活動データ：時間 6 時間 15 分、距離 13.6 ㎞、高低差 436m、累積標高上り／下り 1124m／1188m
会員になって初めての山行は、雨上がりの快晴で草木が輝き、爽やかな気持ちでスタート。あちらこちらに満開の桜が見られ、花の里ユガテ地区では初めてムスカリを見ることができました。
予定を少し変更し、越生桜の山公園にある「無名戦士之墓」へ立ち寄ることに。
ここは受け取る方のいない遺骨のほか、世界各地の戦争で亡くなった戦士の霊をお祀りする霊廟で、無名とは位階を超越し一切無名平等にお祀りするという意味とのこと。満開の桜の中で平和を実感する山行となりました。





大高取山山頂にて

越生桜の山公園は桜が満開

中山道№15(三留野宿～大井宿)

記：染谷

１．日　時：２０１９／４／５～７（金～日）

２．参加者：Ｌ石井美樹，兼堀善和，鈴木　廣，阿部芳夫，染谷智行，兼堀恵美子
石井文子，森　花江，小林いつ子，平野祥子，鎌形瑞枝，杉山清美
木原初枝，渋谷久美子，大門京子，出口栄子，黒澤登美江，今泉優子
鈴木里子，小野寺英子，

３．4/5(金)　草加→仲御徒町→東京→名古屋→南木曾→妻籠宿→馬籠宿　民宿(白木屋)
4/6(土) 馬籠宿→中津川→苗木城址→ホテル(岩壽荘)
4/7(日) 岩壽荘→中津川→恵那(大井宿)→名古屋→東京→草加

今回から交通費節約の観点から、１泊２日から２泊３日のとなる。交通も中央線の「あずさ」から東海道新幹線、東京駅からのスタートである。前回、三留野宿　南木曾駅迄歩いたので今回は、「木曽路はすべて山の中である」島崎藤村の代表作「夜明け前」で有名な木曽路のメインイベント妻籠宿、馬籠宿、中津川宿を経由、恵那駅までの工程である。中山道は、木曽路を通ることから木曽街道とも呼ばれていた。

4/5　13:20

南木曾宿の標高は、410ｍで馬籠峠は、801ｍと約 400ｍの登りであった。下界の草加近辺では桜は満開の中を発ってきたのであるがこちらでは、2 分咲き程度で日当たりの良い所では見ごろの所もある。袖振りの松、かぶと観音で小休止する。妻籠城跡はスルーするが、妻籠の人たち町並みを守るために家や土地を「売らない・貸さない・壊さない」という三原則を作って後世に残し伝えているとのことで国の重要伝統的建造物群保存地区に選定されているとのことで長く維持してほしいと思う。

男滝、女滝を見て難所の馬籠峠を越えると雪の衣を少しつけた恵那山が時々見られる様になる。馬籠宿（今夜の宿泊先　白木屋）に入る前に目にしたのは、木曽五木（ヒノキ・コウヤマキ・サワラ・アスナロ・ネズコ）は、かって尾張藩直轄の領地だった頃、森林保護政策で、「木一本、首一つ」と呼ばれるほど厳罰に処されたそうである。
１６時宿に着く。本日は、草加を６時に出て南木曾駅スタートが１１時半となり４時間半の行動時間、１２キロ弱あるいた。

4/6　５時半起床、７時の朝食まで時間があったので藤村記念館あたりまで散策する。
外人さんも早起きの人がいるもので数人と出会う。８時半、出発する。

4/6　9:48

写真は、山中薬師（医王寺）の枝垂れ桜で見ごろであった。寺の本尊は、薬師如来が祀られ江戸時代は、旅人に刀傷に？効果があったとかで「キツネ膏薬」を売っていたそうである。落合宿を通過し13:00中津川宿到着。ＪＲ中津川駅周辺の散策に入る。長州藩士桂小五郎隠れ家跡の料亭「やけ山」外観を見る。
中津川市中山道歴史資料館を見学後、「間家大正の蔵」地上３階建ての建物を見る。間家は、中津川宿の年寄役を勤めて白木や白木製品、塩等の販売を行い莫大な利益を得ていた模様である。中津川駅に戻り、宿への迎えのバスで苗木城跡（続日本百名城）に運んで頂いた。運転手さんに感謝感激。かっての城は巨岩に築かれた山城で山紫水明を望む絶景とガイドブックにあった。城跡のみであったが訪れることが出来よかった。16：00岩寿温泉旅館「岩寿荘」に到着。温泉で食事も良かった。

4/5　8：00　中津川駅迄送ってもらう。双頭一身道祖神、六地蔵石憧は、六角石柱１本に六地蔵が刻まれれていた。次に坂本神社　八幡宮にて御朱印をいただく。将監塚、庚申塔は、現在も庚申講があり庚申の日毎に講元に集まり無病息災を祈っていらしい。甚平坂を通過しいよいよ大井宿に至る。今回の予定ＪＲ恵那駅には１３時に到着した。
３日間で３０ｋｍ強歩きました。石井リーダーをはじめ参加者の皆様おつかれさまでした。つづきは、晩秋の予定だそうです。興味があるかたは、石井美樹さんへ

4/6　苗木城址 15:00

4/7　12:45

谷川岳登山記　　記録：土屋玲子

◆　日程：　平成31年4月6日（土）
◆　メンバー：　L松浦、山本、殿塚、山崎（寧）、山田、宮澤、石川、土屋
◆　コース：　獨協大学前駅5時半出発～天神平ロープウェイ　8時半　～　谷川岳　～　一ノ倉岳　～　芝倉沢～新道林道　～　駐車場　18時半

「記録」
1月に雪山のお試し山行に参加させてもらい、わかんで歩く体験をした。思いのほか楽しく、いつかまた行ってみたいな、と思っていたがその後なかなかチャンスがなく、今年は雪山はもう行かれないな…と考えていた時に谷川岳の山行計画を見て、思わず手をあげてしまった。
その後詳しい計画書を送ってもらい、愕然。頂上から先に進む？9時間以上の山行予定？アイゼンで歩いたことがない私が行っていいものだろうか？と　頭の中でぐるぐると不安が渦巻く。それは天神平のロープウェイに乗っている時点でもまだ行っていいものなのか？と不安でいっぱいであった。ロープウェイを降りてすぐにアイゼンを装着し歩行開始。天気は予報に反して晴天。雲一つない青空であり全然寒くない。ちょっと楽しい気分になり足取りもまだ軽い。数日前に雪が降り、雪質も良く歩きやすいようである。松浦さんの後を黙々と登って行く。初めて持つピッケル。時折強風が吹きつけ立ち止まってしまうこともあったが、どうにかトマの耳、そしてオキの耳に到着。
以前雪ではないときに登った時に見た光景とは全く違う。
初めて見る雪山の景色はそれはそれは美しい。目が奪われるとはこのこと！と思わずにはいられないほどである。空の青と雪の白、ものすごい光景である。
いつまでも見ていたいし、実はここまでの道のりで充分満足していたのだが、行程はまだまだ先が長いわけであり、さっさと先に進む。
一ノ倉岳が目の前に広がっている。また一歩一歩登って行く。そしてどうにか頂上に到着。ここまで来る人は他にはいなく、私たちの貸し切りのようである。雪に抱かれて満足感でいっぱいの気分であったが、ここからは長い長い下りが始まった。誰も歩いていない雪道をただひたすらに黙々と下る。雪が深く、ひざ下まで雪があり、なかなか思うようには歩けない。とにかく長い下りを降り、沢伝いに目的地に向かって歩いて行った。　途中で雪崩の後のデブリを見ながら歩いたり、どんどん日が暮れて最後にはヘッドライトを点けて歩いたり、初めての経験がたくさんの山行であった。
目的地に到着できたときは満足感で胸がいっぱいであった。計画してくださり、ずっと先頭を歩いてくれた松浦さん、途中でみんなに豆大福をくれた山本さん、（ものすごく美味しかったです！）　一緒に歩いてくれた皆さん、ありがとうございました。大変貴重な体験ができ、少し自信になった山行となりました。

芝倉沢にて

谷川岳マチガ沢雪上訓練

記：井居　奈美

〈山行日〉2019.4.6
〈メンバー〉L、長田、畑野(順)、山口(裕)、朝倉、一ノ宮、西島、井居
〈コースタイム〉集合:獨協大学前 5:30→谷川岳ロープウェイ駐車場 8:15→マチガ沢 9:30～訓練(雪道の歩き方、ピッケルを使っての停止)～昼食休憩～訓練(ロープを使用しての歩行)→訓練後散歩→14:00 下山→14:40 駐車場着→温泉に寄った後 帰路に就く

雪山に登るかどうかは別として 雪上訓練を経験するのは大事だと思い今回参加させていただきました。
20m ほどの斜面で 落ちたら真っ逆さま…という恐怖はありません。しかも 止まろう！と意識しての滑り。止まるのは当たり前…なのですが、なかなか止まらない！何度やっても成功するのは 5 回に 1 回くらい。ベテランの方でもなかなか止まるのは難しそうです。
これは滑落停止の訓練ではなく、滑落したら止まれない！ということを知る訓練だと言われました。その通りだと思いました。

アイゼンもヘルメットも持っていない雪山初心者の私を丁寧に指導してくださった長田リーダーに感謝します。

埼玉百名山　　**鐘　撞　堂　山**（かねつきどうやま・３３０ｍ）

記：山口 敏雄

★ 日　　時 ２０１９(平成31)年４月６日(土)
★ メンバー Ｌ山口（敏)、山﨑正夫、下川賀也
★ コ ー ス 草加駅 7:51～8:46 羽生駅（秩父鉄道）8:54～9:54 桜沢駅～八幡大神社（八幡山ハイキングコース）～八幡山～11:54 鐘撞堂山山頂（円良田コース）～羅漢山分岐～五百羅漢～少林寺～千体荒神～羅漢山分岐～円良田湖～かんぽの宿巻き道～14:54 波久礼駅　　行程　６時間

埼玉百名山の秩父北側の不動山・雨乞山・陣見山・鐘撞堂山縦走を担当することになったが、休憩なしで７時間３５分を要する長丁場のコースであるため、桜の季節に鐘撞堂山の桜見物を目当てに２回に分けての山行を計画した。

東武線羽生乗換えの秩父線は「スイカ・パスモ」が使えないので、フリー切符を購入（１４４０円）し、草加から約２時間で登山口の「桜沢駅」に着いた。

桜沢駅では秩父鉄道のマスコットキャラクターの「鉄道娘・桜沢みなの」ちゃんの歓迎パネルの出迎えに写真をパチリ。登山口の「八幡大神宮」からはいきなりの急騰の山道を辿ること暫しで、標高２１０ｍの八幡山山頂で小休止。気持ちの良いアップダウンが続く尾根路のかたわらにカタクリ群生地の表示があり、思いもかけず咲き残りのカタクリに会うことが出来大満足。

山頂近くの急階段では巻き道をたどり、咲き始めのツツジを楽しみながら谷津池分岐から右へ入り古峰神社に参拝して三角点を探すも見つからずに戻り、登山開始から２時間で鐘撞堂山山頂に到着し３等三角点にタッチ。

記念写真を撮ってもらい、満開の桜を楽しみながら熱々の「山形風玉こんにゃく」で乾杯。山頂の展望台からは羽毛のような新緑と桜花爛漫のハイキングコースと、寄居の街並みの先に埼玉新都心方面の大展望を楽しむことができた。

昼食の後、円良田コースを下り、「五百羅漢･少林寺コース分岐」から羅漢山に向かい、柔和な顔の羅漢さんに癒されつつ少林寺にてトイレ休憩。初めての「千体荒神」コースを辿り人の宗教心に圧倒されつつ再び羅漢山に戻り、円良田湖では湖上の釣り人を見つつ桜並木をのんびりと歩き、「かんぽの宿コース」の巻き路を辿り１５時前に「波久礼駅」に到着した。

波久礼駅では５分後に長瀞方面への下り電車が来たので、フリー切符の有効利用のために急遽､長瀞の桜並木を見に行くことになり、岩畳と桜のトンネルを楽しむことができた。また、長瀞駅では香港からの旅行客に会い、暫しの国際親善を図るとともにスマホ片手に日本中をめぐる今時の若者の行動力に脱帽。

好天に恵まれ、満開の桜と新緑の山を満喫することが出来、同行の山﨑さん、下川さん有り難うございました。

奥多摩　つづら岩

4/7　　長田　一樹

武蔵五日市駅 7:55→千足 BS8:35→登山道→10:30 つづら岩→10:50 練習開始→13:20 終了→13:45 下山→15:05 千足 BS→武蔵五日市駅 15:40

相方が寝坊してしまったので、07:39 のバスに乗り遅れる事が判明(汗)その後は 10:08 しかないので、タクシー使用するか？越沢バットレスに変更するか？悩みましたが、GW の劔の為にも歩いておこうとなり、割り勘にてタクシー使用する。帰りに呑む為に電車使用にしたのが裏目ったかと互いに苦笑い…
武蔵五日市駅から千足 BS までは¥3,520-でした。

久々の連荘山行に登攀道具背負った山登りでヒイヒイ言いながらつづら岩に到着、途中休憩した時に、会った 3 人組×2 パーティーもつづら岩と言っていたような気がしたが、結局現れず？と思ったら裏の岩場にてトップロープで練習していたようです。

つづら岩に先着で居た、パーティーは相方の山岳会の方でした（笑）準備して 7 年ぶり？くらいの一般ルートに取り付くが記憶が曖昧でルート取りが微妙、しかも 2 ピッチと思っていたが結局 3 ピッチで抜ける事になる、要所にはハンガーが有りますが、錆びたハーケン、伸びたリングボルトに、ルート途中にデカイ蛇がいたりしてフリーの岩場とは違う緊張感を久々に味わいました（笑）
上に抜けて、相方の山岳会の方と少しお話して景色眺めて 50ｍダブルで懸垂下降したら、ちょうどお昼なので昼飯にする。

食べ終わって、名物の「おけら」でもと思っていたが、既に取り付いているので駄目、その隣とも思ったが微妙に重なるかもしれないのと、せっかくカム持ってきたので一番右にあるクラックルートを登る事にする。食休みしつつルート観察する、上に抜けられなければ、引き上げて懸垂下降で降りることにして、準備してスタート。
クラックだがジャミング決まる所は少ないフェースっぽい登り方で途中まで、残置の赤リンクカムの上で、エイリアンと C3 両方使用してプロテクション取ったら、微妙に悪いホールドを取って左へ、スタンスは割とあるので慎重に上がって、右に移動して終了。立ち木の後ろにハンガー×2の終了点と左側に懸垂支点あり。こちらはシングルで十分届きます。
終了点に着いた、相方の顔がちょっとだけ歪んでいる、昨日足の指を負傷してしまい思っていたより痛みが増してきたようだ、ちょうど雲も出てきたし、午後に崩れるかもとのことだったので、無理せず此処で終了にして、コーヒータイムを取ってから下山。
下りは爪先に負担掛かって、指の痛みが増すようなのでユックリ降りる、途中相方の山岳会の方が追い抜いて下山する。舗装路に出て漸く楽になったようでストックを仕舞って BS へ、
BS で時間確認すると、次のバスは 45 分後…仕方ないと、目の前のお店でビール買ってのんびり待つ事にしていたら、何と！！目の前に相方山岳会の方の車が停まり、駅まで乗せていってくれるとの事！！お礼を言って同乗させてもらう！お陰様で武蔵五日市駅にはバスの出発時刻より早く着きました！！！

外岩自体も、4 ヶ月ぶりくらいで登れるか？不安でしたが、ゆるいリハビリ感覚で登れて良かったです。少しだけ重い荷物背負って急登を登る事も出来たので、クライミング自体は本数を登れませんでしたが、充実した山行でした。ただ連荘山行は流石にこたえました（笑）

埼玉百名山　皇鈴山（６７９ｍ）～登谷山～釜伏山

記；池本　均

日時　　：　２０１９年４月９日(火)
天候　　；　晴れ
メンバー　；　Ｌ池本、兼堀善和、渋谷、福田、芳野
コース　　：　南越谷駅６：３２―北朝霞駅～朝霞台７：０２－小川町駅７：５５
イーグバス小川町駅バス停８：２０－橋場バス停８：４６
橋場８：５２～粥新田峠９：５０～二本木峠１０；４０～５０～
皇鈴山１１：２５～３０～登谷山１１：５３～１２：００～
釜伏山１２：３８～５０～日本の郷１４：０５～秩父鉄道波久礼駅
１５：１５～１６＝寄居駅―小川町駅―朝霞台駅～北朝霞駅―南越谷駅
１７：１３　　歩程５時間３０分
費用　　：南越谷駅 - 小川町駅＝１０４０円　波久礼駅～南越谷駅＝１２８０円
イーグルバス５００円　合計２８２０円

入会以来初めて、平日の日帰り山行に参加した。電車もバスも混雑をしていた。
橋場から歩きだせば、天気は快晴、麓の桜は満開。粥新田峠まで車道、途中山道に入り、また車道と二本木峠まで続く。２０分ほど歩くと、ミニ天文台のある愛宕山へ到着。
さらに雑木林のピークを越えると東屋と祠が祀ってある皇鈴山。そして、北に向かって辿ると、電波塔のある登谷山。山頂からは、両神山や北東面からは、榛名、赤城山などが望まれる。さらに、釜山神社の社殿の左手から山道をひと登りすれば、奥社の石祠の祀られている釜伏山。ここから、鎖や手すりのある岩稜を急降下し日本の里へ。そして、波久礼駅
までは、{風のみち}というのどかな遊歩道を歩く。マムシ草、カタクリ、ニリンソウなどの
野草がみられた。締めは、南越谷のラーメン屋さんで打ち上げ。最後に、久しぶりの山行で手際の悪いリーダーを支えてくれたメンバーの皆さんありがとう。樹木や植物のガイド役の芳野さん、山行の全面的バックアップ及びナビゲーター役の兼堀さん、花の名前をいろいろ教えてくれた山の会Ｉの美女渋谷さん、新人らしく好奇心旺盛な福田さん、本当にお世話になりました。

両見山（埼玉百名山）

記:殿塚洋一

参加者:L 殿塚洋一、山口裕、鎌形 瑞枝、宋寅虎山行日:２０１９年４月１３日(土)

山行実績:
薬師堂コース駐車場出発:7 時 30 分/ 両見山到着:11 時 5 分/駐車場帰着:15 時 5 分

コースタイム:7 時間 35 分

四阿屋山の西３．５Km に位置し埼玉百名山の一座である両見山に登ってきました。
この山は何とも奇妙な山で埼玉百名山であるにも拘わらず登山道らしきものが無い。両見山、両現山、三合落岳(サンゴーツ)と幾つかの名前で呼ばれ、地図(昭文社)では両見山と表記されているのに山頂には両見山の標識は無く三合落岳の標識がある。
しかも昭文社の地図ではサンゴーツは別の場所。
埼玉にも、まだこんなにも曖昧な山があるのかと不思議な気分になりました。
それで登山はというと地図に登山道の線が無いためＧＰＳと地形図を使用し、尾根を拾いながら歩くということになりましたが、二箇所ほどの悪場以外は整備されていないものの概ねハイキング気分で歩けるような比較的平坦な道でした。
事前には厳しい山行になるのかなと心配しておりましたが、晴天の中、咲き始めた花を愛でながらのルンルン山行となりました！！

埼玉百名山　　棒 の 折 山 (969m)

記：平野祥子

山行日　　2019.4.16
メンバー　L 平野、八並、大門
コース　　南越谷駅 5：31―飯能駅―川又名栗湖入口バス停 8：45 着
白谷沢登山口 9：05…10：15～30（ベンチ）…10：50 岩茸石山
…11：15 権次入峠…11：50 棒の折山山頂…12：00 権次入峠
…12：30 黒山(昼食)…14：40 岩茸石山…16：55 軍畑駅

飯能駅からバスに乗る。下車バス停を乗り越してしまい登山口に 1 時間ロスして到着した。有馬ダムの堰堤を渡り湖畔沿いに進むと白谷沢登山口。やっと登山開始です。

登山道下の沢の音に誘われながら進んで行くと初めに藤懸の滝と天狗の滝が…両側に高い岩壁が深い！！棒の折山は 2 度目。やっぱりここは好きだなあ～足場を選びながら岩に足を置いて行く時はまたなんとも楽しい。鎖場を登り階段を登って行くと林道に出た。ここで一休みして岩茸石へ。途中で凛としたカタクリの花々が咲いて楽しませてくれた。岩茸石から権次入峠までは急登にもかかわらず相変わらず道が荒れて丸太の階段は役に立たない、避けるように脇道がつけられていた。権次入峠でまた一休みして取り急ぎ今回の棒の折山を達成する。残念ながら山頂の桜の開花はもう少し先だった。天気も良くてからっとしていたので遠望はきいた。

権次入峠にもどって岩茸石山へ。奥多摩に縦走する方はわずかで黒山までは 30 分程、私たちを追い抜いた一人の男性は黒山を往復で一緒に昼食を共にし、富士山が見えると声をかけてくれた。この辺りは尾根道でアセビやミツバツツジが目にやさしいカメラで撮る！！黒山から岩茸石山まではアップダウンが繰り返されて思ったより時間がかかってしまった。岩茸石山でまたまた一服！！1 時間のロスのうえ頻繁に休憩をしたので高水山をスルーし巻道で常福院に立ち寄って境内の美しい枝れ垂桜を見せて頂き高源寺へ軍畑駅へと歩く。里に下りると新緑の木々や草花が一斉に咲いて華やかでした。

最後に軍畑駅が高架になっていたとは…？大門さんがスマホで調べてくれて到着となりました。この時期だから良かったけれど気を引き締めて行動する事、リーダーとして反省しました。お付き合いいただきありがとうございました。

記：榊原奈歩

丹沢・モミソ沢 初沢！スパイダーマン体験

山行日：2019/4/13
メンバー：沼田（L)、岸野、石川、山田、榊原、会員外２名　計７名
コースタイム：8H

新茅山荘（8:30）-懸垂岩（8:35）-モミソ沢（11:00）-大滝（14:00）-新茅山荘（15:50）

お天気は晴！今日は初沢だ～と気合を入れて自宅を出発したら、待ち合わせ場所を間違え10分遅刻で草加に（笑）どうも、お疲れ？のようで朝からやっちゃいました。
そんなこんなで。５名＋会員外２名でワイワイ！いってきました。うち３名は初沢です。
前の週に雪が降ったこともあり、沢が凍っていたりしていないか？私のレベルは大丈夫なのか色々不安でした。おまけに、岩トレやスポーツクライミングもやっていない私、沢に興味を持つのかも未知数。けれども、「やってみなければ分からない」、どうなんでしょう？と前向きに沼田さんに相談をしたところ、今回の沢行になりました。
参加前に自分の不安点を打ち明けると、心強い一言、「最後は引き上げるから！！」と。何とか当日、引き上げていただくことはなかったのですが、万全に備えお助けロープを何か所も出していただき安心して挑戦ができました。心から感謝します。

最初は懸垂岩でみっちり２時間半ほど岩トレです。沢靴になれるため沢靴で登ります。
ロープの結び方も分かっていない！何度も見てもらいようやく１人で結べるようになりました。
最初はロープにも慣れない、岩の登り方もなんとなくぎこちないのですが、２回目、３回目と徐々に繰り返すことで体が慣れていきます。

その後、モミソ沢に入ります。リーダーの沼田さんが先行して足場を教えてくれます。
入ってしまえば以外にサクサク～。白いカエルはびっくりしましたが、濡れることにも抵抗はなく岩を上がります。
初沢メンバー、特にスポーツクライミングをやっている石川さんは、俄然やる気の上り！

沢初の山田さんもバランスよく上がっていきます。
２年目の岸野さんは、ささっ！といっちゃいます。
みんなでスパイダーマン気分！で頑張ります。
苦戦箇所は大岩の最後、足場が定まらないのでなかなか進めません。
でも、手を置く場所など導いてくれ、何とか自力であがりました。
下りは、メンバーの希望で懸垂降下で降りました。
なんとぶっつけ本番になってしまいましたが、降下の練習は懸垂岩でおこなっていたので感覚は同じ。むしろ懸垂降下が気持ちよく癖になりそうな感覚でした。ただ、これはリーダーがしっかりロープを張ってサポートしてくれているから出来ているだけであって自身では無理ですね・・。

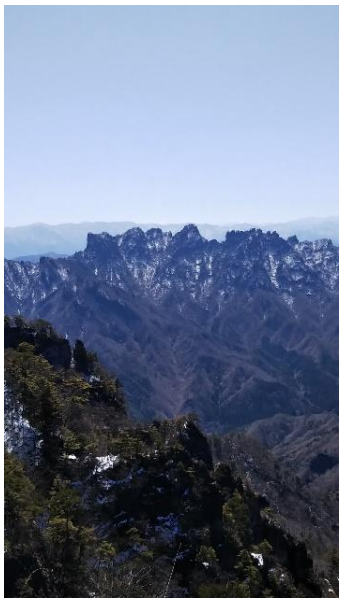
色々初めての体験となり新な幅が広がる可能性も！？あり。リーダー、参加された皆様に感謝です。本当にありがとうございました。

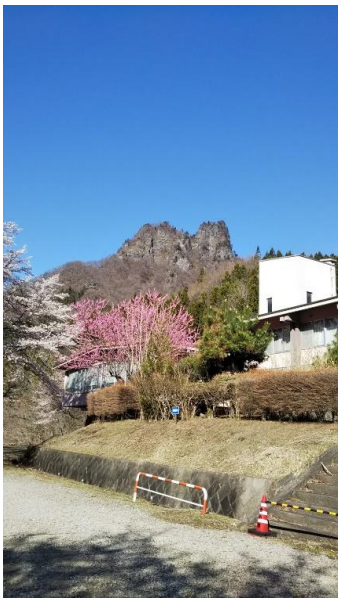
裏妙義丁須の頭

記：新島　和子

○日程　２０１９年４月 13 日（土）
○メンバー　Ｌ山崎（寧）、村上、遠藤、新島
○コース　国民宿舎 8：00→丁須の頭 12：20→国民宿舎 13：55

ここ数年、岩場に対する恐怖心が増大中。
あえてキレットなんに行くつもりはサラサラないのですが、どのような山にも危険！な箇所はあるわけで避けてばかりもいられない・・ということで山崎寧子さんにお願いして岩場の多い山行をリクエストしたところ、裏妙義になったというわけで実はビビッていました。
4 月に入って天候が不安定で真夏日もあれば真冬日もあり、10 日に雪が降って当日は登山道がどのような状況なのか・・リーダーの寧子さん、肝をひやしたことと思われます。
案の定、北側斜面は雪が張り付き凍っている状況の中ロープを張ってもらい安全確保の簡易ハーネス（スリング）とカラビナの出番。忘れてなくて良かった・・何年振りかしら。
体力というより精神的に疲れました。
今は閉館している国民宿舎裏妙義の桜が青い空に映えて綺麗でした。
もみじの湯で汗を流しこんやくパークでこんにゃく食べ放題のお楽しみつき。
お疲れさまでした。そして、ありがとうございました。
私の挑戦はまだまだつづくのです。





城山　バトルランナー→西南カンテ

4/14
だるま山高原コテージ 7:45→8:05 駐車場→8:30 城山南壁 8:45 バトルランナー取り付き→1P 目終了点敗退(ラッペル)西南カンテ移動の為、南壁下部 1P 目 11:30→12:40 西南カンテ取り付き 1P 目→トラバース→2P ケミカルボルトルート→終了点よりラッペル 14:30→2P 取り付きラッペル→西南カンテ取り付き通路→南壁斜上バンド(ラッペル)→15:30 南壁下部

岩登りと宴会のセット山行に誘われたので、伊豆の城山へ行って来ました。
自分以外は土日の両日ともクライミングでコテージで宴会です。自分は土曜日の仕事終了後に辿り着いて、先に呑んでいる人達に追い付くべく、ガンガン呑んで就寝 Zzzzz

やはり若干二日酔いで城山へ、今日はマルチピッチクライミングがやりたいとの事で、マルチ初心者だがフリーやボルダリングはかなり登れる S さんと C さん、自分と O さんが組んでスタート。
S さん流石に安定した登りで 1P 目終了点に到着、ここで支点作成して後続の C さん引き上げないといけないのだが？何やら時間がかかる…あまりにも時間がかかるので双眼鏡で覗くと（汗）テンパってしまった模様(大汗)幸い後続はいないので焦らずにやってもらい何とか C さん引き上げてもらう、流石にこのまま進むのに不安を覚えて、取り敢えずそこで待ってもらうようにして、自分達も終了点へ
確認した所、あやふやな箇所が多く、S さん自身からも降りた方が良いと思いますとの事だったので、一度降りる事にしてラッペル（懸垂下降）
南壁の取り付きにて急遽終了点作成、確保支点構築の勉強して、ダブルロープ貸出して、マルチピッチの練習の為、西南カンテへ移動する。
南壁下部のスラブ 5.9 を登り斜上バンドを辿り、西南カンテ取り付きへ向かう通路の入り口付近の終了点で切ってビレイ。後続の S さん C さんにも登って来てもらい隣でビレイしてもらう、終了点作成の手順やセルフビレイの長さ ATC の向き等を説明しながら後続を引き上げてもらう、説明を受けながらの実践だと、理解も早いようで難無く後続の引き上げも完了。西南カンテへ移動してスタートしたいが先行 P が詰まっている、焦っても仕方ないので、時間決めて降りる事にして、先行 P のフォローが登ったら、自分達が先行してスタート、以降終了点で待って後続 P に来てもらい手順を確認してから、自分達がスタートを繰り返す。
2P は先発 P が詰まっていたので右にトラバースしてケミカルボルトルートを登る事にする。グレード的には 5.8 無いかなぁ？と云う感じです。ただボルトの感覚は気持ち長いのと高度感はあります。途中で切らないで 50m いっぱいまで伸ばすと西南カンテの 4P 目終了点に到着、後続 P は途中でギアが足りなくなり一度切る事にして 2P に分けて到着、時間は未だ余裕があったが風が吹いてきて寒いのと天気予報より持ってはいたが何時降り出してもおかしくないので、ここで終了とする。ここから 50m ダブルでラッペル 2 回で、西南カンテ取り付きへ向かう通路に降りられます。

通路辿って下降して斜上バンドの所から、最後のラッペルして取り付きへ戻る。
皆でガチャ分けして終了！！

またしてもバトルランナーは登れませんでしたが、マルチ初心者に教える良い経験になりました。フリーでかなり強い人も、マルチの経験が無いと高度感やらガイドモードでのフォローのビレイに慣れていないのに加え、セルフビレイと確保器の相関関係が上手く行か

ず、余計にフォローのビレイが出来なくなり頭が真っ白になるようです。
フリーでイレブン台が触れるか登れて、更に飲み込みの早い人であれば、付き添いながら簡単なマルチが行ける事が解ったのは収穫です。

長岡温泉弘法の湯でお風呂に入って、弥次喜多でご飯食べて、横浜町田の渋滞の無くなった東名で帰埼しました。

＊クッキングワールドは初中級者の練習にもってこいのようです！

しらびそ小屋でほっこり

宮澤　明音

メンバー：宮澤（L）、青木、土屋、奥村
コース：稲子湯～ミドリ池入口～しらびそ小屋～中山峠～本沢温泉～中山峠～しらびそ小屋　山行時間合計（1 日目）：5 時間/　（2 日目）：2.5 時間

宿泊を予定していたものの、豪雨のために登山口の温泉宿での宿泊となってしまった昨年 8 月以来温めていたリベンジ訪問計画をようやく実行！
予約の際には翌朝の朝食にトーストをお願いするのを忘れずに。
今回は数日前に 2-30cm の雪が降ったものの、当日は快晴！T シャツ 1 枚で歩けました。翌日は雨か雪になるという予報だったので、荷物を置いたらすぐに再出発。本沢温泉までの雪歩きを楽しみました。

翌日の予報のせいか、宿泊客は私たち 4 人だけ！
夕食の後はこたつに入ってのんびりお酒を飲んだり話をしたり。8 時半の消灯は早いよね‥なんて言っていたのに、翌朝の遅めの朝食時間までしっかり寝ました。
私たちが朝食を食べながらリスを見ることができるように、お母さんが朝食時間に合わせて窓際にひまわりの種を置いておいてくれました。
期待通りにリスや鳥たちが餌を食べているのを見ながら、私たちも朝食。
薪ストーブで焼いたトーストと落としたてのコーヒーをゆっくりと楽しみ、贅沢な時間を過ごしました。朝食後はしらびそ小屋の周囲を散歩し、早めに下山。温泉に入って帰宅しました。
自然の中で、山を満喫できた週末でした。

埼玉百名山　**笠山～堂平山～大霧山、今年は**

記：井口 宮子

★ 日　　時 ２０１９(平成31)年４月１４日(日)
★ メンバー Ｌ井口、兼堀(善)、山﨑(正)、森(律)
★ コ ー ス 草加駅 5:42～越谷駅 6:04～羽生駅（秩父鉄道）7:06～8:40 小川町駅～タクシー～白石車庫 9:10…10:25 笠山 10:35…11:25 堂平山 11:35…12:10 白石峠…13:30 定峰峠…14:05 旧定峰峠…14:50 大霧山…15:15 粥新田峠…16:06 橋場 ～バス～16:40 小川町駅～19:30 草加駅

春の山行，今年は秩父の花々を見たいと思い計画した。
電車を乗り替え、羽生駅から秩父路フリーパスを利用し小川町駅に着いた。
白石車庫バス停までタクシーを利用し、前日までの天気予報を気にしながら準備して出発した。空を見上げると青空が見え、今のところ雨の心配は不要と思いつつ少し足早になった気がした。

登山道は整備されていて、笠山を過ぎ、堂平山の手前辺りでカタクリの花が咲いており、草原状の山頂からは３６０度の展望を楽しめたが、風が強かったことは残念だった。

萌黄色の山並みと満開の桜やミツバツツジの花に元気をもらいながら歩を寿調に進めて、大霧山までもう少しの所でポツポツ雨が降り出した。仕方なくみんなで雨具を着たが、間もなく止んでホッとした。

メンバーの皆さんと天に助けられ計画どおり大霧山までの三山の頂に立ち無事下山し予定のバスに全員乗車し電車で乾杯！！

埼玉百名山の一つのコースを担当させていただき、成功できた事に「祝」「感謝」です。

北茨城 / 久慈男体山（653.9m）

記：浅井祐子

L.浅井ゆ、杉山、澁谷、下川、山崎正、出口、木原、新庄、（車利用）
4/16(火)　草加 5:30 = 登山口 8:15/8:30 出-分岐 9:10 - 山頂 10:40 - 登山口 12:40 = 宿
4/17(水)　宿 = 御岩神社参拝 = ひたち海浜公園散策 = 那珂湊港(昼食) = 帰路

安価な宿「伊東園」を利用しての山行もすっかりお馴染で、今回は久しぶりの久慈男体山へと出かける。低山ながら 300m程の岩壁を持つ奇岩の山。行程は周回コースが取れ、登りは健脚コースと呼ばれる岩登りが楽しめる。トイレのある登山口駐車場から里山を暫く進むと急登が始まり、その後 1 時間弱は岩をよじ登り続け山頂直下の東屋に飛び出る。岩場には鎖が設置されているので心配はないが、油断すれば勿論滑落し怪我は必至。でも同行の面々は皆思いっきり楽しんでいる様子。頂からは、南に筑波山、西には日光連山や那須方面の峰々が先日の雪で白さを増しアルプスにも劣らぬ美しい姿を見せていた。

下山は芽吹きの始まった自然林の中を春の花々を目でながらのんびりと下る。いたって短い行程の山ではあるが、鳥のさえずりを耳にしながらまだ浅い春の山を満喫した。

二日目は、パワースポットで知る人ぞ知る常陸國最古の霊山「御岩神社」やネモフィラが見頃のひたち海浜公園などを楽しみながら帰路につく。

皆さんにちょっとお願い…。

例会は 7 時半開始ですが、運営委員メンバーが 7 時より準備を始め、みんなの出席を待っています。働き盛りの皆さんには仕事を終え例会に駆けつけて下さることに感謝します。で、お願い。例会終了時にはプロジェクターやパソコンの片づけ、白板消しなど、お手すきな方は撤収のお手伝いを是非お願いしま～す。

四つ又山･鹿岳周回　アカヤシオを愛でに

記:山口裕史

山行日：2019 年 4 月 21 日
メンバー：L 山口裕、宋、山崎正、鈴木勝、会員外 1
コースタイム：5 時間 50 分
鹿岳登山口付近の駐車 7:40 – 7:50 四つ又山登山口 – 8:36 天狗峠– 9:10 四ッ又山 9:25 – 10:00 マメガタ峠 10:15 – 10:50 鹿岳（一ノ岳） 11:15 – 11:25 鹿岳 12:05 – 12:20 高原降下点 – 13:15 木々岩峠登山口– 13:30 鹿岳登山口

毎年見たい花の 1 つがピンクの丸い花弁が素敵なアカヤシオ。今年はどこに行こうか考えていましたが、西上州を鹿岳と四つ又山を訪れました。
まだ咲き始めという感じでしたが、四つ又山山頂やその直下、マメガタ峠から鹿岳への登り辺りはきれいに咲いていて、久しぶりに幸せな気分になりました。
そのほかにミツバツツジも今が見ごろで、1000m 付近はアカヤシオ、それより下はツツジが咲いていて道中飽きません。
また、西上州の山らしく岩峰で起伏に富んでいて登山コースとしても十分に楽しめるコースでした。悪いところはロープや鎖が設定されているので、慎重に歩けば問題なさそうです。
惜しむらくは高曇りだったこと。晴れていれば妙義や浅間山がきれいに見える好展望が期待できそうです。
山麓は桜が散り始め沢に花びらが流れそれはきれいでした。

来年もこの時期にアカヤシオを愛でに西上州山行はマストですね。

面白山～金華山（観光）

記　山本 理郎

日程	2019 年 4 月 19 日（金）～20 日（水）　マイカー2 台使用
コース	1 日目松原団地西口 5：30……東北道……山形道……山形北インター……天童高原 10:40……長命水 12：05……三沢山 13：05……面白山 14：20……天童高原 16：40……作並温泉（鷹泉閣.岩松旅館泊）
	2 日目作並温泉---秋保温泉---金華山---常磐道--- 三郷インター---草加
メンバー	L=山本 小宮 和田 松田 兼堀 黒沢 鈴木(里) 小野寺 石井 新島 大門

1 日目　面白山登山

面白山という名前は仙台方面から見ると残雪が遅くまで残ることから面が白い山いう意味らしい。6 年前の 2 月にトライしたが登山口ですでに膝までの新雪で諦めた山で、ネットで調べてみると、4 月の中旬は山頂付近に残雪が残る程度で簡単に入山できそうだ。

今回の山行は岩松旅館が平成の終わりを記念したセール中であるを知り、山の会の長老メンバーの登山組と温泉旅行組との混成部隊で山行を企画した。仙台の作並温泉 岩松旅館は伊達藩の時代から 200 年近く続く老舗旅館で、広瀬川の渓谷に沿った岩風呂が有名であり正岡子規などの多くの文化人に愛された宿でもある。

登山口の天童高原に着き、目的の山をみると、けっこうな残雪のようだ。観光組も散策を兼ねて途中まで同行する計画であったが、すっかりその気を無くしてしまい、芭蕉ゆかりの山寺の観光に急遽変更。それも良しとするのが、高齢者グループの山行である。

登山組 8 人は登山支度をして入山。長命水までは緩やかな上りで 90 分、そこから急登 5 分で尾根筋に出る。三沢山までは腐った雪に覆われて、足をとられながら、小枝を払いながらのルートとなる。三沢山 13：05 着、夏道ならば面白山山頂到着の時間帯である。
ここで更に登頂組と下山組に分かれ、更に写真の右奥の山頂に向かう。

面白山の山頂を目の前にしてて、リベンジ組は引き返す訳にはいかなかった。山頂近くの急登では踏み抜くと腰の下まで潜る、残雪との格闘になったが、三沢山から 75 分で山頂に立つことができた。山頂まで行けた満足感の反面、夏山時間プラスα程度で甘い計画を立てたリーダーは大いに反省しなければならなかった。当日は 3 組に別れて行動したが、携帯が通じる山で、更に天候も安定していたので、行き違いが起きることもなく、行動できたことは幸いであった。観光組には 1.5 時間もお待たせしてしまい、お詫びいたします。

今回の山行は作並温泉の名湯に入ることもテーマの一つです。午後 5 時過ぎには岩松旅館に到着した。50 度を超える源泉を 5 つも持ち、広瀬川の渓谷で天然の岩から湧き出す、源泉かけ流しの透明な湯は疲れた体に心地よかった。夕食を待たずに、部屋で飲む乾杯のビールは極楽のひと時であった。

2 日目　金華山観光

山行 2 日目は登山組は船方山への登山であったが、面白山の残雪状況から誰一人として船方山への希望者は居なかった。全員一致で小宮リーダーの観光計画に参加することになった。観光の途中、船方連峰が車窓からよく見えてが、真っ白に雪を被っており、登山中止の判断は正解だったようだ。

観光の目的地は牡鹿半島の突端の金華山である。途中石巻から半島部に入ると、いたる所で、防潮堤の建設が進められており、ダンプトラックの往来も激しく、再建途上である事がよく分かる。立ち寄ったコンビニでは津波到達の高さの標識もあり、改めてその怖さを認識した。

突端の金華山は鮎川という魚港から、高速船で 20 分、定期船で 40 分の距離だ。歴史を感じさせる大きくて立派な社殿は、その昔、金が取れて朝廷に献上したとか、また 3 年連続で参拝すると一生お金に困らないといわれているパワースポットでもあるらしい。島にはお土産屋一軒すらない、だからこそ、神聖で、静かで、辺鄙で「旅をした」という思いに浸れる場所であった。

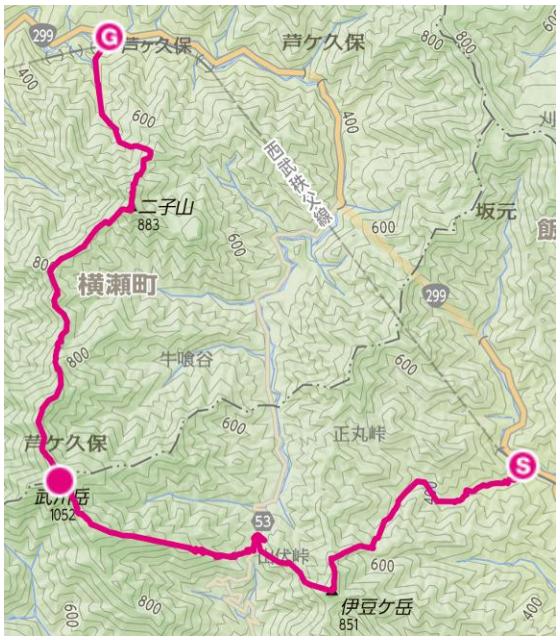
皆それぞれの願い事をお願いし、裏山をしばし散策して帰路についた。

奥武蔵縦走 NO.2 ＜正丸駅～芦ヶ久保駅＞

一ノ宮恵美

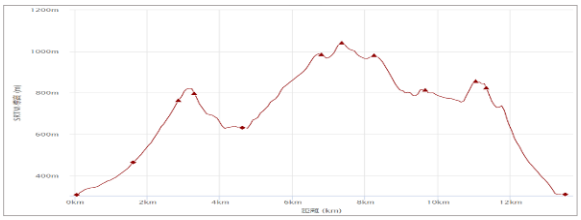
■山行日：2019 年 4 月 22 日(月)
■参加者：L 殿塚・池本・山口(敏)・一ノ宮
■往路：南越谷駅 6:32－7:06 新秋津駅(歩)秋津駅 7:18－7:47 飯能駅 7:53－8:24 正丸駅
■コース：正丸駅 8:35－8:50 伊豆ヶ岳登山口－9:53 五輪山―10:20 伊豆ヶ岳－10:44 山伏峠 10:57－11:57 前武川岳－12:16 武川岳 12:51－13:47 焼山 13:53－14:40 二子山雄岳 14:51－15:01 二子山雌岳－16:18 芦ヶ久保駅
■復路：芦ヶ久保駅→南越谷駅
■活動データ：時間 7 時間 44 分（休憩 1 時間 14 分含む)、距離 13.6 km、高低差 735m、累積標高上り／下り 1131m／1140m

昨年 7 月に大分から引っ越して以来、ずっと気になっていた伊豆ヶ岳にようやく登れる！とわくわくしながらいざ出発。岩場を見上げるとちょっとドキドキしましたが殿塚リーダーにアドバイスしてもらいながら楽しく登ることができました。



また、初めて見たアカヤシオやヒトリシズカのほかミツマタ、ミツバツツジ、カタクリなどの花にも出会えました。

武川岳 1051.7m 山頂で 25℃と初夏のような暑さの中、斜度がきついアップダウンの繰り返しで久しぶりに踵にはマメ、爪先も痛くなりゴールではヘトヘトに。修行のような山行でしたが芦ヶ久保駅前の道の駅でゲットした缶ビールで皆さんと乾杯！生き返りました(笑)。



武川岳山頂にて

初めて出会ったヒトリシズカ

城峰山

記：岸野

日時：2019 年 4 月 24 日
メンバー：岸野　康恵、兼堀　善和、鎌形　瑞枝、小林　いつ子、森　花江、出口　栄子，
　　福田穣治、浅倉　直人
登り　南尾根コース
　　8:30　石間交流学習館（駐車場）　→　9：30　展望岩　→11：40　城峰山頂上
下り　表参道コース
　　12：10　城峰山頂上　→　12：20　城峰神社　→　13：50　石間交流学習館（駐車場）

埼玉百名山の城峰山。天気が心配な曇り空の中、歩き始めました。なかなかの長い登りです。休憩を挟みながらゆっくりとしたペースで樹林帯を進みます。最近まで破線のルートだったようですが、標識も多く、よく整備されていました。地図にある展望岩は木に囲まれてしまって、展望なしです。しかし、代わりにカモシカが姿を現してくれました！途中から小雨が降り出し、頂上に着いた時には辺りは真っ白に…。天気が良ければ展望台から 360 度の景色が広がっているのですが残念。展望台の屋根の下でランチを食べて下山です。

途中にある城峰神社でお参りして、足早に下ります。表参道の最後の鳥居をくぐると車道に出て、そこからは皆さん傘をさして駐車場まで歩き、下山はあっという間に感じました。

今回は私の初リーダーの山行でしたが、みなさんご協力ありがとうございました。おしゃべりしながら和気あいあい、時々綺麗なお花が咲いていて、とても楽しい山でした。

坂戸山

森　律子

実施日：2019 年 4 月 28 日
メンバー：浅井昭光、浅井祐子、井口宮子、森　律子
コースタイム：9：02 登山口→10：54 坂戸山→112；31 登山口

山の花で一番好きな花がｶﾀｸﾘの花です。
新潟のこの時期六日市にある山は山菜とカタクリの花でいっぱいになります。
また、越後三山はまだ雪があり、素晴らしい景色を楽しむことができます。
　狙い通り天気は良く、予定通りに登山口へ、たくさんのカタクリの花たちに迎られ、登山道の両脇にはカタクリの花でいっぱいで、まるで天国に続く道の様でした。
東京スカイツリーと同じ標高634mの山は結構急登でなかなか登りごたえがありました。
山菜もコゴミ、コシアブラ、イタドリなどがあり新潟のお山最高！
帰りは近くの温泉 400 円に入って、新潟名物へギそばを食べて、道の駅で新鮮野菜を GET して新潟満喫しました。
　うちに帰って道の駅でお勧めされたコゴミのみそマヨを作って食べたらすごくおいしい・・・
山菜はあまり興味はなかったけれど、大好きな食べ物になしました。
また、この時期行きたい山ができました。
ご一緒していただいた皆様ありがとうございました。

【　残雪期の那須・茶臼岳、朝日岳　】

記：石川浩道

山行日：平成３１年４月２８～４月２９日
参加者：L 沼田、岸野、榊原、浅倉、石川
コース：２８日（日）　５時２０分「草加駅」→９時４０分「峠の茶屋駐車場」→
１０時４５分「峰の茶屋」→１２時００分「朝日岳」→
１３時３５分「隠居倉」→１５時００分「三斗小屋温泉」着
２９日（月）　８時３５分「三斗小屋温泉」→１２時００分「姥ケ坂」→
１３時１０分「茶臼岳」→１４時３０分「峰の茶屋駐車場」
＊＊＊

平成最後の山行は、１０連休という大型連休の前半。
初日は、混雑感はなく、快適に峰の茶屋までは順調にハイキング。（風は強い）
剣が峰を通過する際に、アイゼンを装着し、朝日岳へ向かう。

朝日岳山頂からの見晴らしは、天気も良く、那須岳独特の茶色い山に雪が半分残って空が余計に蒼く見える。
熊見曽根から隠居倉に向かう雪の稜線には、足跡は無く、どこへ向かっているのかわからないような道を沼田リーダーがサクサクと歩いていく。
私たちと同じ「三斗小屋」に向かうグループから、
「どう行けば良いのかわからないので、申し訳ないですが、後をついていかせてください」
と頼まれ、私も同じ立場にもかかわらず、誇らしげにそのグループの前を歩く。
隠居倉を過ぎると、硫黄の匂いが強くなり、三斗小屋温泉（煙草屋旅館）に到着する。
夕食を終え、部屋に戻り、ビール２０缶、缶酎ハイ数缶、焼酎、ワイン・・・を５人であけ、就寝前に再び温泉に入る。
全裸にヘッドライトという格好で入る温泉は、格別に気持ちが良い。
若干二日酔い気味で２日目を迎え、姥が平に向かう道中、「お気楽残雪ハイキング」と計画書にあった筈なのに、突然、残雪期における強化訓練が始まる。
沼田リーダーが突然、鬼講師になり、がっつり雪山斜面の往復などを強いられる。
浅倉君が少し痩せた気がした頃、強化訓練を終え、ロープウェイ登山道に合流し、茶臼岳山頂へ向かう。
大型連休ということもあり、ロープウェイから山頂までは人が多く、前日の朝日岳に比べてガスっていたが、二日酔いのお酒も抜け、気分良く下山することができた。
今回、ご一緒いただきましたメンバーの皆様、楽しかったです。ありがとうございました

北穂高岳

記：畑野　順二

◆山行日：2019 年 5 月 1 日～5 月 4 日
◆山行者：畑野順二
◆コースタイム：
5/1　上高地 6：15-横尾 9：00-本谷橋 10：30-涸沢 12：25
5/2　涸沢 7：00-北穂高岳 9：35
5/3　北穂高岳
5/4　北穂高岳 7：20-涸沢 9：20-本谷橋 10：25-横尾 11：25-上高地 14：50

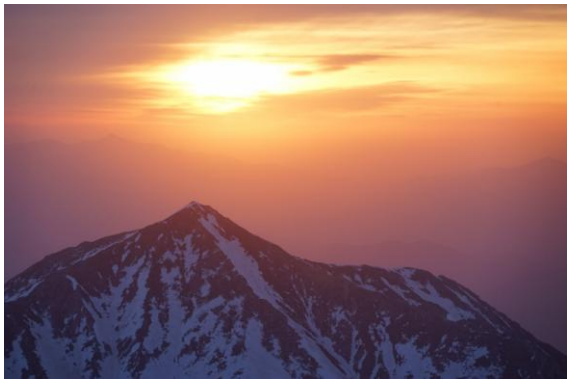
4 年ぶりに春の北穂高岳へ行ってきました。

5/1 上高地を出発する時から、雨であ～あ～
5/2 涸沢を出る時は、北穂高岳は雲の中で少し心配で歩きだす。無事にゴルジュを通過し休憩し核心部のインゼル上部は、新雪でトレースが消えて一歩一歩慎重に登って行き、やっと北穂高岳山頂につく。

北穂高小屋では、常連の方々と 4 年ぶりにお会いし、まずはビールで乾杯して、その後はウイスキーを飲んで夕食後はワインで飲みすぎました。

5/3 朝食前に山頂で撮影会です。でも雲がでて残念で終わり、北穂高小屋で連泊です。

5/4 朝から晴れで奥穂高岳から前穂高岳も赤く焼けて満足です。
5 人で一緒に下山しました。雪は締まっていて。トレースも階段になっていて無事に下山しました。



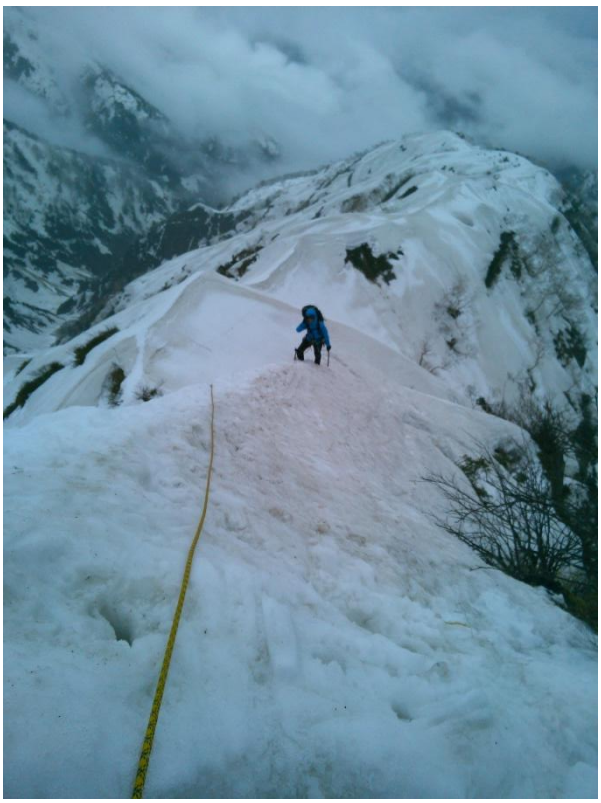
剱岳　北方稜線（エスケープ赤谷山～ブナグラ谷下降）

L：長田　一樹　会員外

5/1
7:00 馬場島→7:35 二又出合い→取水口→8:10 取り付き→赤谷尾根→15:001800m幕営
5/2
1800m幕営地点 10:00→赤谷尾根→14:30 頂上幕営
5/3
5:30 赤谷山頂上 7:45→北方稜線→10:00 ブナグラ谷ショートカット→10:30 ブナクラ谷合流→12:15 渡渉（右岸～左岸へ）二又出合い→12:55 馬場島

初日の慣れない重荷の疲れも有って、アッという間に寝入っていた。未明に強風でテントが変形する感触とフライを派手に叩く雨音で目が覚める。アレ寒くない？思ったより雨降るのだろうか？行けるのか？エスケープは？どうする？どうする？？とウトウトしながら考えていたが、疲労に引き戻され再び寝入ってしまっていた…

馬場島の派出所で聞いた所、雪は例年に無いくらい少なく、赤谷尾根は藪こぎが酷いとの事、又明日から天気崩れるので無理しないでとの注意を受ける。
準備して出発、本日は朝から天気が良く気温も上がりそう。二又までは林道を歩いて橋を渡る、右岸を暫く歩くと左手に赤テープがあり適当な所から取り付くが、ヤブが煩くザックに外付けしたマットやらアックスに引っかかり、悪戦苦闘する。
午前中は26キロになっているザックに不安を感じていたが、何とか一時間あたり 250mのペースで高度を上げられていた。
それも昼が近くなってくると一時間あたり 100m強の高度しか稼げなくなり、1400mを過ぎた辺りからスギ花粉が未だ残っていて、通過する際に擦れて降ってきて顔や体に直撃するので花粉症の自分には地獄でした。1700m過ぎた辺りで後続 3 人組 P に抜かれる、初日は頂上へは辿り着けず後続 P と 1800mで幕営、先発 P が赤谷山頂上直下を下ってくるのが見える？怪我なのか撤退なのかは不明
初日はかなり温度が上がり昼過ぎからは池ノ谷、仙人谷方面から引っ切り無しに雪崩の音が響き、時折ガランゴロンと落石の音も同時に聞こえてくる。



5 時に起きてはみたが、風雨が酷く行動は出来ないので、ラジオで天気予報聞きながらユックリ目の朝食を取る、マット下を確認するとテント内に浸水あり（汗）濡れは最小限だったので速乾タオルで掻き出しホッとする、7 時過ぎには風雨が弱まり始めるが完全にはおさまらない、雪崩の音がこの時間から響き出す（汗）昨日の気温で緩んだ雪に、今日の温かい雨が追い打ちを掛けて雪崩確率はかなりの高さになっている。
二日目は最低でも大窓まで進んで、最悪は大窓からエスケープとしていたが、この気温と雨で大窓から中仙人谷のエスケープも難しくなっている。予報では本日午後から回復するが翌日は又雨で終日、明後日は回復するが晴れはしない、明々後日は微妙で寒気が下ってくれば雪の可能性大、行くのであればエスケープは出来ないので、尾根伝いに最後まで行くしか無いのだが、重荷と体力の兼ね合いに天気と雪の状態が微妙、本日は赤谷山頂上で幕営して様子見て、明日が雨だったらブナグラ谷を使用して下降することに決める。後続 P は時折風雨が強い中 8:30 幕営地出発する、先発 P は 9:00 に自分達の幕営地を過ぎ下山、自分達は時間に余裕が出来たので、もう少し風が弱くなった 9:40 に表に出て撤収して 9:50 出発。
ザックの重量は変わらずというか雨で重量は増している感じ、相方も足取りは重い、雪は昨日に増して更にグズグズ、それでも一時間ほど歩くと頂上直下の立っている雪面に到着、ここでロープを出す事にして、小休止後に登り始める。悪いのは最初の雪面と途中の岩場だけだった。ココを纏めて 1P で通過すれば良かったのだが分けてしまい時間がかかる。その後もロープが欲しいとの事だったのでロープは出したまま頂上まで、頂上に近付くにつれ斜度は緩やかになり、頂上は広くなだらかな快適な幕営地でした。
頂上に着く頃に、漸く雨風がおさまるが今度はガスが湧いてくる、ガスの切れ間に大窓付近に 3 人組が見えたが、その後はガスの中で確認取れず。昨晩の事もあるので、今回は雪面掘り下げ、防風壁も作ることにして設営開始するが、フラフラと力が入らない。登るのに夢中で水分食料補給していなかった事に気が付く（汗）何とか相方に頑張ってもらい設営後のテントに潜り込んで、温かいものを食べたらホッとしました。晴れたのは夕方の一瞬だけで後はガスの中、たまに風は吹くがガスを晴らすほどでは無い、20 時就寝

朝起きると、明るいし雨音もしないので、期待して顔を出してみるが、ガスというか霧雨でびっしょり…撤退を決めるのだが、気温は今日まで氷点下にはなっていない。こうしている間にも雪は溶けていくので必要最低限の水を作って出発。荷物が減った相方にフライを持ってもらう、赤谷山を北西方向の北方稜線沿いに下るのだが、これも稜線伝いはかなり急なので北斜面を降りてから左手方向にトラバースしながら下る。こちらもグズグズで足場が決まらず怖い。自分は出発直後に左足を踏み抜き、左足が完全埋没して自力脱出不可能になったり、相方はトラバースでスリップするわで、本当に気を使って草臥れました。ブナグラ谷へは破線ルートを使わず、1850m 付近からショートカットの沢伝いに踏み跡が有ったので、それを使用して下降する、合流まではデブリや落石跡にビビりながら足早に進む、合流地点の広くなった所で漸く安堵して休憩を取る。ココまで来たら安心と思っていたが、ここから先も大変でしたルートロスする事数回、デブリで埋まって不明だったり、踏み跡辿って沢伝いに降りたら雪が溶け落ちていて渡れなくて登り返したり、雪が減ってくると岩と泥付きと藪の世界だが、所々に雪が残っているのでアイゼンは外せない、一日中雨は降り続くのでハードシェルは脱げない、雨だか自分の汗だか解らない濡れた状態で二又近辺まで降りてきたが、橋が落ちていて渡渉しないと戻れない事に気が付く、何とか靴脱がずに渡れるポイント見つけて渡渉して、ヘロヘロで漸く二又へ降りると偵察に来た登山者の方が傘をさして登場(笑)渡渉地点やブナグラ谷の話をして別れ、あとは林道をテクテクと馬場島まで戻り、アルプスの湯でお風呂はいって寿司と富山ブラックラーメンをお腹いっぱい食べて、下道を大量使用して戻りました。

結果的には、大敗北というか全てにおいて自分が甘かったなと言うのが感想です。
備忘録代わりに書かせていただきます。

反省点
自分の体力を考えていない重荷（使わない物、余分な酒、つまみ等）
ウィスキーは一日あたり 180ml もあれば十分、つまみ行動食は考える（味、数、重量、容量）、雪の状態にもよるがスノーソーは本格的な物は要らない、テルモスも大型の物は要らない、全装で動くならアックス、スノーバーでペグダウンできるので竹ペグは要らない、雨対策でザックカバーを持っていったが外付けが多いと付けられない。濡れ対策で着替えのウールタイツ上下を持っていったが使用せず。これは日数と天候による。水はお湯も合わせて量を考える。コッヘル、ガスも必要最低限にする。ゴミ袋は便利だが大量には要らない、残雪期二人分の水ならコンビニ袋ひとつの雪で大丈夫。装備が重なる物に関しては、個人装備としていても事前にチェックした方が良い。速乾タオルは必ず持つ。

そもそも論として、全装備担いで連日の登攀や行動が出来る体力を付けなければいけない！

アイゼンを付けるタイミング
重荷であればあるほど早めに付けた方が良い、自分の過去の事故を忘れていたので大いに反省、斜面変化が解らないならば雪が続く所で装着する。

ストックからアックスに変えるタイミング
ストックを一本にしてアックスを腰にぶら下げるか？斜度の変化で適宜変えるか？

ロープを出すタイミング又仕舞うタイミング
今回は出すタイミングより仕舞うタイミングが難しかった。一度ロープ付けると仕舞うのが面倒になるのと確保されている安心感から外したく無くなる。時間短縮の為にはタイトロープ又はコンテも必要か

何より行動時間の短縮
危険地帯に滞在する時間を減らさないといけないので準備は確実に、行動は素早く、ロープワーク技術の向上に、雪上での支点構築技術の向上、兎に角スピーディーに行動

良かった点は
大窓、小窓、三ノ窓や池ノ谷に仙人谷、ブナグラ谷、赤谷尾根、小窓尾根、劔尾根、早月尾根等の劔周辺の位置関係がハッキリと解った事です。特に大窓、小窓、三ノ窓は良かっ

た。日本離れした景観には圧倒されました。

西上州
木戸壁右カンテと筆頭岩（妙義山）

記：山崎寧子

日 時：　令和元年　5 月 2 日

メンバー：　山崎寧子、会員外

標 高：　826m：

行 程：　草加 5：30→外環 IC→松井田妙義 IC→旧国民宿舎 7:30

①木戸壁

旧国民宿舎駐車場→40 分→木戸壁右カンテ取付き→5 ピッチ 120 分→終了点→90 分懸垂下降→取付き→40 分→駐車場

●車移動　２時間

●登攀時間 3.5 時間

②筆頭岩

筆頭岩登山口→10 分取付き→3 ピッチ 90 分→懸垂下降　20 分→30 分登山口

●車移動　0.5 時間

●登攀時間 2 時間

装 備：　登攀装備一式(防寒具)、お昼×1 回、ダブルロープ 50ｍ２本

【感　想】

約半年ぶりのマルチピッチに出かけた。朝一で一番乗りの予定で出かけたのに、すでに前パーティが２組いた。がっくし。

待つこと 70 分、やっと自分たちが登攀できる番だ。

ぐちゃぐちゃの岩肌は 70 分まつ間に少し乾き始めていた。まったご褒美かな？

Ⅲ級、Ⅳ級の登攀グレードは気にならなかったが、今にも崩れ落ちそうな岩を用心深く登るのに集中力の継続に疲れた。おまけにドロドロで。。。。

最終終了点についた時には、ヘロヘロ～

懸垂下降４回で地上に到着、途中 ATC をおっこどしてかっくり。

初級の岩場でも、多くのアクシデントと課題がよく見えてお勉強になったが、泥壁と泥壁登攀に、満足度が足りない。

時間もあるし、筆頭岩も登ろうと移動することにした。

筆頭岩は初級の３ピッチ、登山靴でも登れる、そして眺めは最高のお手軽の岩だ。。快適な３ピッチを楽しんだあと、空中懸垂２回を行い満足感満載で帰路につく、ひざびさのマルチピッチを終えて、もうそろそろレベルアップしたところに行けるな。と実感できる自分がいた。

懸垂下降もトップがやりたい。

と、言う私に「うーーん。」と唸るお隣さんに、

まだまだ実力が足りない。

と実感はあるけれど、そしたらいつステップアップできるのさ？

と、言葉にしない圧力をかけた。

上信越　前掛山(浅間山)

記：山崎寧子

日 時：　　令和元年　5月4日

メンバー：　山崎寧子、新島和子、大門京子、青木麻子

標 高：　　2568m：

行 程：　草加5：20→外環IC→上信越→中部横断自動車道→佐久北IC→チェリーパークライン→　　8：30高峰高原ホテル駐車場

車坂峠登山口8：50 - 9:05 1985m地点 - 10：25トーミの頭 - 11:45 湯ノ平分岐 -11:55 前掛山登山口（賽ノ河原分岐点）（お昼20分）-13:25 山頂--13:55 -15:00 トーミ―の頭 - 16：55車坂峠(登山口)

●車移動　3時間

●山行　　7時間55分

●標高差　約600m

装 備：　登山標準一式(防寒具)、帽子、スパッツ)、地図、磁石、行動食、水分、軽アイゼンまたはチェーンスパイク、ポール、お昼×1回

下山後温泉：高峰高原ホテル内　600円タオル付　18時迄営業

感　想)

草加山の会で行く、令和初の山行は、浅間山（前掛山）だ。

「高峰高原ホテル駐車場までは、チェリーパークラインだけ開通しています。」と、ビジターセンターのお兄さんに言われ、チェリーパークラインなるものをネットで探す。

・・・・・よくわからない、

Google先生の経路マップで見てみると、google先生の言ってる経路がチェリーパークラインのようだ。

ノーマルタイヤでも大丈夫ですよ。と、言ってくれたお兄さんの言葉を信じて、決行をみんなに伝える。

登山口から残雪たっぷりだった。しばらく歩き、アイゼンを装着し、静かでほぼ貸切の樹林帯を登る。雪の残る樹林帯は春がはじまったばかりのようで、生まれたばかりの新芽達が元気をくれる。

ぱっと開けた分岐点からはガレ場の急峻の道のよこに広々とした山峰ががバット広が

り、溜息の風景だ。

トーミ―の頭を越えると、いっきに落とされる急激な斜面と少しべちゃ気味の雪に手こずらされながら、賽の河原でお昼ごはん。

予定スケジュールよりも 60 分も遅れてしまっていたが、これも想定内。

ここからは、長い上り坂、じゃりじゃりの歩きにくい登りに、いきなり降ってきた玉状の雪たちが土色の斜面をあっという間に、真っ白に染める。

「粋じゃないか」

「なんて素敵な出迎えなんだ。。」

レインウェアを忘れてきてしまった私は、急いでツェルトを被り、寒さしのぎをして山行を続ける。

途中引き返そうか？という仲間に、「行こうよ。行けるよ」とがんばると、

山頂では青空が広がり出迎えてくれた。

今までみていた浅間山は前掛山で、本当の浅間山ではなかった。

本当の浅間山は前掛山の後ろに隠れて噴煙をあげていた。

ということも、今回歩いてわかった。

ピストンだから、またまた急な登山道を登らないといけない。

うんざりするほどの急坂も終わってしまえば、楽しい山だった。

一緒に行ってくれたみんなに感謝。「ありがとう」

武甲山（1304m）・小持山　（1273m）

記：福田　穣治

■山行日：2019 年 5 月 4 日
■参加者：福田
■コース：5：45 草加ＩＣ発…6：50 花園ＩＣ…7：30 鍾乳洞駐車場着、付近調査…8：00 道路歩き出発…9：00 武甲山登り口…10：00 長者屋敷…11：00 武甲山頂上…12：00 小持山頂上…14：30 茶平北沢源流…15：00 寄国土（いすくど）…16：00 鍾乳洞駐車場到着　計（8 時間）

どこにも行かない 10 連休。これを充実したものにしようと 5/2 に思い立ち 6 時間越えの歩程で企画しました。またリーダーにも憧れていたので、まずは一人親方でおためしです。山の会のおかげで今頃秩父の偉大さを知り好きになりました。他のリーダーにより達成済みの 100 名山であっても
今後は秩父に拘って登ってみたいと思っています。

前々回の大高山山行の時には寝坊で 1 時間遅れで登り始め、皆に追い付こうとショートカットなど試み、途中迷った挙句、下山後に追いついたという間抜けな経験から、
今回こそはと、それなりの計画を立てました。

小持山まで予定より早くクリアしたあと、昼休憩中も人の動きを見ていたのですが、道が無いからなのか破線ルートには誰一人向かわず来た道を戻って行きます。「尾根をはずさなければ大丈夫」と言う意気込みで下山を始めたところ、今度は頼みの綱の携帯の電池が無くなり、雷と小雨の薄暗い中、城山通過もあきらめ少し戻って磁石に頼った不安な急斜面の下山となってしまいました。公道に出るまで、無数の丸太でふさがれた沢沿いの獣道を 30 分歩き、やっと秩父さくら湖畔に出たのですが、祝日で 1 日 4 本のバスは出たばかりで、結局、鍾乳洞駐車場まで、しっかり 1 時間歩くはめになりました。
そんなこんなで、リーダーになるには、まだまだ修行が足りないと痛感した次第です。

出発前「ここからなら駐車場まで 5 分」と言う下山口確認など、車で下調べもしたのですが、下山後、良く見ると「山林整備の出入り口であり登山道ではない」と書いた小さな看板がありました。
小持山からの破線ルートは何なのか？
なぜ通ってはいけないのか？
尾根をはずさなければ途中に城山もあったのに、
行くことが出来ず今でもすごく残念です。
この破線ルート、いつか再チャレンジしたいと思っています。

帰りは車のラジオで「花園インター22 ｷﾛ」の渋滞がわかったのでインター近くのスーパー銭湯で 20 時まで過ごし、食事も済ませて、帰宅は 21：30。途中いっぱい悩み、反省し、体もクタクタでしたが、刺激の強い有意義な山行となりました。

奥多摩　越沢バットレス

5/5　　L:長田　一樹　　会員外

8:10 鳩ノ巣駅→8:45 越沢バットレス東屋 9:20→9:30 右ルート取り付き 11:00 終了点 11:15→懸垂下降→11:45 右ルート取り付き→11:50 東屋昼食 12:35→12:40 第二スラブ取り付き 12:50→第二スラブ終了点 14:45→懸垂下降地点 15:00→懸垂下降→15:25 右ルート取り付き→15:30 東屋 15:55→16:25 鳩ノ巣駅

北方稜線での散々な出来具合から、もう少し重い状態で安定して登攀出来るようにと、互いにカムをフルセット装備してマルチの練習をする事にしました。場所を悩みましたが、GW の渋滞が怖かったので電車でアプローチ出来る越沢バットレスに決定。

前の山行の疲れは取れているのだが、アスファルト歩きは疲れる…。林道を外れて山の中に入っていくのだが、以前より整備されている感がありあり？
結構、人が入っていたりしてと思いつつ、到着すると先行 4 人 2P が第二スラブに取り付いている。待っていても仕方無いし、準備して空いている右ルートへ向かう、じゃんけんでリード決める、相方リードでスタート。
右から周り込むⅣ級のルート取りで登る、何故か？途中の木で切ってしまい、クラックは登らず終い、クラックは自分が担当するプロテクションはカムで 3 箇所、上に抜けると立派なハンガーがあり其処で一度切って引き上げる。元々2P 目担当だったので、そのまま引き続き 2P 目をリードする。ソロの方が追い付いてきたので、先に行くか？尋ねた所、ソロシステム上降りて登り返しがあるので、先に行って欲しいとの事だったので、そのまま継続する。チャート独特の光って滑る岩質にヒヤヒヤしながら終了。3P 目は相方が担当だったのだが、リーチ問題が発生したため A0 で抜けてもらい、自分を引き上げてもらい終了点に着いたら。セルフ取って、懸垂下降の準備して懸垂下降開始、50ｍダブルだと微妙に下に届かないの、クライムダウンも出来そうだが、練習に来ているのだから下で切ってもう一度懸垂下降

取り付き到着したら靴履き替えて、東屋に戻って昼食。昼食中に先程のソロの方が降りてきて話をすると共通の知人が居る事が判明する（笑）

食べ終わったら第二スラブへ移動する、4 人 2P は大学山岳部の監督と部員のパーティーでした。監督は相方山岳会の知り合いの方で、バットレスに練習で来ていたようです。部員の方が同ルート下降してくるのを待ってから、スタートする。

1P 目は相変わらず登り難いような簡単なような右上がりの岩です。思ったより左にホールドスタンスあるのを思い出し、微妙なバランスのルートを登って、木の上にある終了点で切って、後続を引き上げる。2P 目は相方担当、今回は A0 無しで大丈夫な模様、引き上げて貰い、3P 目のスラブスタート！ココは本当に高度感バッチリで本チャン気分バリバリ。出だしの右に出ていく一歩が怖いが良く探せばスタンスはあるので慎重に進んでいく、途中少し右に寄り過ぎてしまい余計なプロテクション取った為、ロープの流れが悪くなる（汗）思いの外、長いルートだったと思い出したのは、手持ちのアルパインクィックドローもスリングも無くなりかけた所でした（笑）最後は二箇所くらいプロテクション飛ばして終了点へ、カムが決まると安心出来ますが、錆びたリングボルトにハーケンは心臓に悪いです

（汗）それでも終了点は整備されて、ハンガーが打ってあり、ラッペルステーション迄あるのだから、整備されている方々に感謝します。

もう少し本数を登れるかと思いましたが、電車の時間もあるしこの辺で終了。もう少しロープワークを洗練して、越沢だったら一日で 10P は登れるようになりたいなと思い直した一日でした。

残雪期鹿島槍　～2889M～

記　山田朗子

2019 年 5 月 4 日～5 日

メンバー：L 山口裕、SL 鈴木勝、松田、岸野、殿塚、榊原、山田

5/4　柏原新道登山口（駐車場で仮眠）7:00―12:45 爺ヶ岳南峰 13:10―13:25 爺ヶ岳中峰 13:50―15:00 冷乗越―15:15 冷池山荘（テント泊）

5/5　冷池山荘 5:30―6:30 布引山―7:15 鹿島槍南峰 7:40―8:20 布引山 8:30―9:10 冷池山荘（テント撤収）10:05―12:00 爺ヶ岳南峰 12:10―15:50 柏原新道登山口

＜１日目＞柏原新道入口に車をとめ、満天の星空の下仮眠。登山口から１時間ほどで南尾根への分岐となり、右へ入る。凍結あり、雪あり、雪なし、夏道でないので木の根だらけで歩きにくいが面白い。

樹林帯を抜けると雪と青空の気持ちの良い景色が広がる。槍や穂高が見える。ぐさぐさの雪にアイゼン前爪を何とか蹴り込む。こんなに急登なのに大きなザックを背負ったリーダーはどんどん登る。すごいなあ、と思う気持ちと申し訳ない、という気持ちが入り混じる。

爺ヶ岳南峰まで直登、登って登って登る。ようやく爺ヶ岳南峰に到着、剱の姿に癒され、これから歩く爺ヶ岳中峰～鹿島槍の稜線を見る。目指す鹿島槍が大きい。

冷池山荘に到着、テントを張り、水を作り、夕食を作る。大きなフランク入りのスープが美味しかった！この時期は山荘前にテントを張れるので、トイレが近くて助かりました(*^-^*)

＜２日目　＞布引山を越えて頂上まで２時間、テントやシュラフは置いていくので荷物が軽い！アイゼンも効いて登りやすい。 途中、白や白黒混じりの雷鳥が何羽も出てくる。山頂では風もなく 360 度の素晴らしい眺め。剱、立山、五竜へのキレット、妙高・火打、白馬、、、、、 ああ、素晴らしい！！

名残惜しいが、山頂を後にする。山荘でテントを撤収し、再び重いザックでこんなに登ったっけ？？と思いながら下る。リーダー他皆さま、どうもありがとうございました。

田沼アルプス

小林いつ子

■日　　程　令和１年５月９日（木）
■メンバー　L 山本・和田・山崎正・阿部・小野寺・黒澤・小林
■歩　　程　草加松原７：00 発−北関東自動車道佐野田沼下−8：30 鹿嶋神社奥駐車場
8：45 駐車場発・・・9：25 三床山頂・・・10：40 一床山頂・・・11：45 駐車場

今年になって年号を跨ぎ、二度目の田沼アルプスであった。
前回とても楽しめたので、随分宣伝して歩いたのがきっかけであった。もとは、八並さんのお勧めである。感謝しなければ！！

二度目も天気に恵まれて、爽やかな山行になった。言い出しっぺとして、先頭を仰せつかったので、少し緊張した。あっという間に三床山頂についた。山は冬から初夏の山へと変貌していた。葉が茂って日陰の風が気持ちよく通り抜ける。三床から二床を通り、一床までは岩上の尾根道である。小さくてもアルプスと言われているのはこの辺りのことだろう。周回コースもあり、5 時間くらいの歩きが楽しめる。
今回も前回と全く同じコースで歩いたので歩程は休憩を入れても 3 時間。
次は周回コースや高松山にもピストンしてみたい。帰りは近場の満願寺に立ち寄り、ランチに出流蕎麦を戴いた。メンバーに喜んでもらえたので大満足でした。

記：榊原奈歩

心地よい春山！ 恵那山

山行日：2019/5/2
メンバー：山崎（L)、鈴木勝（SL)、新島、殿塚、森律、松田、朝倉、榊原 8名
コースタイム：8H
峰越林道ゲート駐車場(6:25)-広河原登山口(6:55)-1735m 地点(8:20)-2058m 地点(10:20)-恵那山（昼食 0:25）-下山開始（11:45）-広河原登山口（14:20）-駐車場（14:40）

昨年の夏山シーズンは悉く雨で、カッパ登山の日々だった。霙交じりの雨に叩つけられることや、予想もしない降雪に見舞われ、眺望がなく楽しめない山行が続いた。
その反面、今シーズンの冬山山行は好天。
そして今回の山行も晴天、残雪がわずかに残る恵那山に8名でいってました。
GWの翌週のため、高速道路は渋滞していなくいいタイミングでの山行だ。
この行きのワクワク、ドキドキ感はたまらない！！どんな山なんだろう～？
前夜入りをして4人用テントを2人で広々と荷物を広げて使う、こんな贅沢はないと痛感。
登山口の駐車場につくと、関西圏ナンバーの車が多い。関西から来やすい場所なんだなーとあらためて思う。
自分は何故名古屋に住んでいたころに来なかったのやら、岐阜に来ている気がしない。

5月ともなると下界は暑く感じるところ、恵那山の麓は少し遅い春。桃源郷は、きれいな桃の花が迎えてくれる。若芽の新緑がまぶしく、鳥のさえずりが聞こえてくる。樹林帯を最近歩いていなかったとふっと我に返り思う。
この樹林帯歩きを心地よく感じるのもシーズンのうちわずかで、あっという間に夏がやってくる。
樹林帯を歩き1800mを超えると残雪が、ちょこちょこと出てくる。念のためアイゼンを装着。朝倉君のペースが少し落ちる。踏み抜きが怖いのだろうか、それも慣れれば変わる。
私も昨年までは雪道がこわかった。しかし雪山にはいるようになった今年は、雪道の恐怖がほぼなくなっている。
ようやく視界がひらけ、御岳、北岳、甲斐駒、千丈、八ヶ岳などが見渡せる。ここは登山途中の眺めを楽しむ山だ！思わず写真をとってしまう。
幾度となく振り返り、景色を目に焼き付ける。雪の白と山の青、空の青このコントラストがみれるのも、もうわずかな時間しかないと思う。
山頂からは眺望がないが、降雪後はとても綺麗だろう。
各々、いろいろな思いや考えを持って登っている。それぞれの思いや考えは違えど、達成した味わいはみんなで分かち合える。会にはいってから心からそのように思うようになった。

リーダーの寧子さんは忙しい中計画を立ててくれ、ご参加の皆さんと楽しく山行を楽しむことができました。サブリーダーの鈴木さんは後方からしつかりと見守っていただき安心して登れました。本当に感謝です。

八丈島（第2団）

記：下川　賀也

★山行日・・・２０１９年５月１０日～１２日
★参加者・・・兼堀（恵）、石井（文）、石井（美）、木原、染谷、八並、尾崎、大門、下川
★コース
１日目　　船着き場（底土港）　９：１０着
　　レンタカーにて島内巡り
２日目　　八丈富士登山口８：５０――山頂１０：００　お鉢巡り１０：５０――１１：１０
　　神社往復（２０分）――下山口１１：５０

１日目は雨の為レンタカーで服部屋敷や地熱館、黄八丈夢工房等を見物する。工房では皆がたくさん買物をしたので特別に、昔の機械の仕方で腰と足と手を使って織るのを見学させてもらった。
この方法で織ると反物の肌触りがやわらかになるそうです。織る時間は倍ぐらいかかるそうです。

２日目は八丈富士に・・・駐車場は全部「わ」ナンバーでした。登りは長い階段で１２８０段あるそうです。お鉢巡りはガスで一瞬、いや２回だけ小八丈が見える細い道を歩いていると初めは背中、次は横風、前風と感じながら一周の気分をあじわいました。神社はお鉢の中にあり、とても神秘的な佇まいでした。
下山後、島寿司を＜宇喜多秀家・豪姫の碑＞や溶岩のゴツゴツした海岸や小八丈を見ながら美味しく食べ、かけ流しのお風呂に入り、空路にて帰る。
楽しい二日間でした。皆さんありがとうございました。

関八州見晴台（埼玉百名山）

記：宋　寅虎

◆ 山行日：2019 年 5 月 18 日（土）
◆ メンバー：L　宋、山口(敏)、松田(武)、村上、森(律)
◆ コース：5：52　南越谷駅→秋津→飯能→西吾野駅着－高山不動尊登山口－9:00 大滝－不動滝－白滝－高山不動尊－11:00 関八州見晴台－11:30 花立松峠－12:30 黒山三滝－13:30 役の行者分岐－14:00 顔振峠－展望台（雨乞い塚）－15:00 顔振峠登山口－15:37 吾野駅　－17：25 南越谷駅

埼玉百名山の会山行が始まってから計画時期を逃し、遅い翌年の 5 月中旬となった。ルートは顔振峠を経由するパノラマコース。特に難所の無い穏やかなコースだが､予想以上に UP が続いて長かった。最後の方はさすがに疲れた。でもまだヤマツツジは満開中で、桜はギリギリ残っていた。途中たくさんの花に出会えた。大滝,不動滝,白滝は水がチョロチョロしか出ないとの登山客の話を聞き、高山不動尊へ直行。推定樹齢 800 年、高さ 37 メートルの大イチョウと、歴史を感じさせる寺院が現れた。山の中にデカい寺院が。そこから 30 分ほど登り、関八州見晴台に到着。噂の 270° 展望のようで、関東平野の眺望は素晴らしかった。ここでの写真シャッターを押し忘れました（残念)。お昼タイムの後、花立松峠、黒山三滝へ。登り坂の傘杉峠まではちょっとしんどかったが､武さんに頑張ってもらい､やっと難所は終わり、顔振峠へ。ここから下り続け、吾野駅に着いた。

顔振峠では平九郎茶屋でちちぶコーラと休憩、おばあちゃんにタケノコをごちそうになった。美味しかった。新越谷に戻り、知人の韓国料理店でチジミ、ガムジャタン（ジャガイモ鍋)、焼酎で乾杯。最後まで、楽しい一日でした。有難うございました。

冠岩沢

記　　松 田 弘 一

2019 年　5 月 19 日

メンバー　L 沼田、山口（裕）、石川、岸野、栁原、会員外、松田（弘）

コースタイム　草加駅 5：30　冠岩橋 8：30　大持山 15：30　冠岩橋　16：50
草加駅 21：00

初めての沢登り、天気、良かったです。緊張しながら歩きだしました。　登山道をしばらく登ってから沢に降りました。　沢に水が流れてます。初フェルトシューズを水に浸してから
沢登リ開始､ぬめりがありそうな所､岩などを歩く時は慎重に足を置く場所を選びました。何度か小滝を登り、2 段 15m では L 沼田さんがロープを出してくれて、プルージックコードを使用してなんとか登れました。　水に濡れると寒かったです。気温が温かい時に沢の水にドボンしたいッス！　楽しそう！！

谷川岳一ノ倉沢中央稜

5/19　　長田　一樹

谷川岳 RW 駐車場 4：05→5:00 一ノ倉沢出合い 5:20→5:50 テールリッジ末端→6:40 中央稜取り付き 6:55→7:151P 目終了点敗退(ラッペル)→7:45 中央稜取り付き 1P 目→テールリッジ懸垂下降→テールリッジ末端 10:00→10:20 一ノ倉沢出合い→11:10 谷川岳 RW 駐車場

先週に二子山の中央稜登ったので、もう一度中央稜と思い、何度も計画しているのに天気やパートナーの都合等で登れていない一ノ倉沢の中央稜を計画してみました。当初予報より好転したのでシメたと思っていたのですが…アルパインは天気とか他の要因も絡むので本当に難しい（汗）

未だ暗い中、指導センターで計画書提出しヘッデンで歩き出すと、目の前には道路を塞ぐ鉄板が現れる（汗）注意書きを読むと除雪の為に重機が入るので、一般者の立ち入りは制限していると、仕方なく谷側の脇からガードレール跨いで侵入する。

出合いまでは約一時間、トイレも既に使える状態になっているが雪の量は多い感じがする。ここで朝食とトイレタイム。終わったらハーネス付けてヘルメット被って一ノ倉沢へ、烏帽子岩や稜線にはガスがかかっていて天気はすぐれない、他のパーティーも居ないし、なんだか風も強くなったきた感じで嫌な予感。焦っても仕方ないし、ゆっくり歩いてテールリッジを登り取り付きへ、取り付きでは強風で体が冷えてくる、取り付きから下を見ると 2 パーティー上がって来ているのが見える、待っていても風は止みそうにないし雨がぱらついたら降りる事にして、相方リードでスタート！なんだか時間掛かって終了点に到着、程なく用意ができたようで自分がフォローで登りだす。登りだしてわかったのですが、ロープが風で煽られて重いのと岩が冷たくて指が痛くなります。脆い岩に気を使いながら終了点に着くと、顔が真っ青で唇が青紫の相方が（汗）自分も身体冷え切ってきたのと、下降は数回にわたる懸垂下降になるので、この風に煽られると面倒な事になるかと思ったのに加え、雲が取れないので、後続 P が取り付く前に降りようと決断して、懸垂下降で降りる事にする。

後続 P が取り付き近辺まで来ているので、ロープは投げずに纏めて繰り出しながら下降、相方が降りる時はロープが風で煽られて、あらぬ方向に引っ張られていました。
後続 P は行ける所まで行きますとの事で、準備している中、自分達はテールリッジの下降を始める、降りている最中に雨もぱらついたので降りて良かったと思っていましたが、雪渓に辿り着く頃には､ｱﾚｱﾚﾚ???登山あるあるですが、風も心なしか弱まり晴れてきました。
やっちまったと思いながら、判断を誤った事を相方に詫びながら駐車場へと戻る（涙）

「そういう山の運ってのがあるんだよ」

そう言ったカツさんの言葉を思い出しながら、やはり山は色々な要素が絡み合いナカナカ思い通りにはならんなぁと再確認した山行でした。

帰りの月夜野 IC 入り口のカーブではタンクローリが横転していてに新潟側の出路を塞いでいました（大汗）
恐らく荷物満載で IC 入り口のカーブを曲がって不安定な所に風で煽られたのだと思います。中身が漏れていて怖かったのですが、後から聞いたら水だったようで一安心でした。

江戸散歩・谷中・上野・根岸

松浦　剛

１、期日：令和元年５月２２日（水）
２、集合場所：草加駅ホーム中央（登り千住方面行ホーム）
３、集合時間：午前９時
４、参加者：L 松浦、黒澤、阿部、鎌形、石井文子、兼堀恵美子、小林いつ子、殿塚

９時３０分：日暮里駅より散歩開始、昨日の大雨と異なり今日は快晴だ。少しの坂を登り５分程歩くと朝倉彫塑舘に着く。
浅倉彫塑舘を 30 分ほど見学する。日本の彫塑（ブロンズ）彫刻の最高峰の芸術家、朝倉文夫氏の住い兼アトリエであり「旧浅倉文夫氏庭園」として文化財登録されている。館内は洋館と日本家屋よりなり、素晴らしい室内を見学し中庭には池があり、多くのブロンズ作品も展示され、同氏は文化勲章も授与している。
館内を出て３分程で「夕焼け段々」経由で谷中銀座を通り、千駄木の団子坂に向かう。
団子坂の由来はこの坂で団子を売る茶店があった事に寄る様だ。団子坂下に出て団子坂を登りきると鴎外記念館に着く。
森鴎外記念館：20 分ほど見学。明治 25 年から大正 11 年、60 歳で亡くなるまで約２０年間過ごした家の後に建てられた記念館である。鴎外は此処で多くの作品を書いた。
特別展として鴎外と親しかった平塚らいてう、与謝野晶子、樋口一の３人展が開催中であった。団子坂を下り不忍通りに出て、根津神社の近くにある漱石の旧居に向かう。
夏目漱石旧居跡の記念碑が立っており、後の塀の上には猫の像がある。家は名古屋の明治村に移設されている。漱石はここで「吾輩は猫である」「坊ちゃん」「草枕」「ロンドン塔」などを書いている。現在は日本医科大学の敷地となりビルが建っている。坂を下り根津神社に入り庭内を見ながら、正面鳥居に出て不忍通りに出て、言問通りの交差点を右に曲がり弥生町の東大に向かう、坂を登り途中に「弥生式土器発見地」の石碑が建っており、弥生町は弥生式

夏目漱石旧居跡記念碑前

土器の命名の地となっている。
１２時ごろ「弥生・竹下夢二美術館」に着き、館内のレストランで昼食を取り休憩。
美味しいカレーを食べて、コーヒ、紅茶を頂いてから、東大弥生門より東大校内を見学、全学連闘争で有名な安田講堂、漱石の小説「三四郎」で有名な三四郎池、赤門をみて東大病院の前を通り校外へ出る。東大からはさだまさしの歌で有名な「無縁坂」を下り、上野不忍池に出て、池の中央散歩道を通り弁天堂より、上野の山に出る。時間が有ったので池之端を歩き「ホテル鴎外荘」内の森鴎外が舞姫を書いた頃住んでいた家を見学する。上野の山の戻り清水観音堂見学と、広重の「江戸百景」にある「月の松」を再現した、枝を丸く輪にした松を見る。観音堂の近くには幕末時代に上野の山で官軍と戦い敗れた「彰義隊の墓・記念碑」があり、此れを見学して「正岡子規記念球場」の脇を通り科学博物館の前にある野口英世の銅像を会津出身の文子さんの為

彰義隊の墓記念碑前にて

文子さん野口英世像前にて

に立ち寄り見学する。最後の見学場所の子規庵に行く為に鶯谷駅を通り根岸に向かう。
１６時頃「子規庵」着。目の前に中村不折の記念館がある。子規庵はお母さんと妹に病床の身を世話になり３６歳でこの世を去った家である。わずかなに庭が子規の天地であった。漱石、虚子、碧梧桐、不折、その他多くの文人が訪れた家である。子規はこの家で明治３５年３６歳で亡くなった。戦火に焼かれ焼失したが、戦後まもなく復元再建された。子規の病床の部屋から眺める庭は何と無く寂しい。子規庵から出発地の日暮里駅に行く途中に、有名な羽二重団子屋があり、２～３週間前に新築された綺麗なビルに入り羽二重団子を食べて、草加に帰還する。

１７時頃草加駅着。中華屋さんで打ち上げをして、楽しかった一日を振り返る。
子規は３０歳頃より病のカリエスがひどくなり、３６歳で亡くなるまで根岸の家（現子規庵）で病と闘っていた。子規はその苦しみを沢山の文章に残している。子規の残した作品には沢山の庭の花々の絵が残っている。病で動けなくなった病床の子規には庭だけが天地の世界であった。

子規庵にで解説用ビデオ見学、奥の間が子規病床の間

「那須-ゴンドラより三本槍」

記　浅井昭光

・日程　　令和元年 5 月 25 日(土）車
・メンバー　　Ｌ浅井祐子、八並絹代、澁谷久美子、浅井昭光、
・コース＆タイム　草加（5：30）---外環---東北道---那須高原スマートＩＣ---県道 305
マウントジーンズＰ（7：45～8：00）―ゴンドラ―山頂駅―
赤面山分岐（9：30）―北温泉分岐（9：50）―三本槍山頂（11：20
～12：10）―北温泉分岐（12：40）―赤面山分岐（12：50）―
山頂駅（13：40）―ゴンドラ―マウントジーンズＰ（14：05～14:25）
小鹿の湯---食事---矢板ＩＣ---東北道---草加(19:00)

天気が良く、高速道路からの景色が新緑で清々しい。那須のゴンドラに乗って三本槍へ行くコースは初めてで楽しみにしていた。マウントジーンズ駐車場に着くとかなり車が止まっている。目当ては誰もが白ヤシオの花である。ゴンドラ入口付近には山ツツジの花が鮮やかな色を魅せていた。とても歩きやすい道で散策路のようだ。登って行くにつれお目当ての花が見当たらない。もう少し登って行けばあるのではと思っていたがとうとう一輪も咲いていなかった。替わりにミネザクラを見かけて、雪渓も所々に残っている。「まだ早かった。残念！」私だけ、足慣らしに、朝日岳へと向かいロープウェイ駐車場で拾ってもらい風呂に向かった。
天気が良く日焼けをしたが、大勢の登山者が往来していました。お疲れ様でした。

記：榊原奈歩

未来の鯉のぼり～応援！！

Kazo クライミングカップボランティア参加報告

実施日：2019/5/26
メンバー：長田（L：リードビレイ）、岸野（トップロープビレイ）、朝倉（ビデオジャッジ）、小林い（選手受付・選手呼出・アイソレーション）、榊原（ビデオジャッジ） 5 名
ボランティア参加時間：10H
打合わせ（7:30）-受付開始（7:50）-競技開始（9:35）-競技終了（17:45）

ボルタリングをやったことがないけど、ボルタリングの選手の登りを生で見てみたい！という思いから本当はギャラリー参加でもいいかな？と考えていたところ、ボランティアに参加希望者がいると知り、より選手に近い場所で見れそうかも！との思いからの参加でした。

参加したメンバーの 1 人 1 人のボランティア参加への気持ちや思いは違うけど、みんなで未来の鯉のぼり応援のため、それぞれの役割を果たすべく汗を流します。
それぞれの希望に近い役割の中でできそうな役割にあてていただくよう、リーダーの配慮があったのだろうと思います。
外は 5 月なのに超夏日、体育館の圧倒する壁と迫力のある登りを見せてくれる選手、応援の熱はどんどんあがり、予想通り蒸し風呂状態の中緊張しながらビデオをまわします。
壁へのとりつき方、ホールドの取り方、ムーブ、選手の果敢な挑戦は本当に熱い。
横に目をやれば、朝倉君も黙々とビデオをまわします。撮れなかったら責任重大だね！！と二人で話をしていたのでお互い必死です。
さらに目をやれば、黙々とトップロープビレイで選手を壁に取りつかせ、ロープを片付けして次の選手の準備をする長田さん、キッズのロープを確認してサポート・ビレイする岸野さん､受付､選手控室でアイソレーション*のサポートをする小林さん､各々の役割を淡々とこなす、大変だけど充実した時間でした。

今回草加山の会からのボランティア参加は初めてとのことで、前例がなくどうなるのか？と思いきや、会場ではボランティアが不足してるとのことで、大変感謝をされました。
是非、また来てほしいとのお言葉をいただきました。興味のある皆さん！特にビレイができる人は歓迎、次はご一緒に参加しましょう。

*アイソレーション：他の選手の登り方を見ないようにするために隔離された部屋

キッズ決勝のトップロープビレイ岸野さん

ミドル予選のリードビレイ長田さん

「てんとさいと」作成の基本事項

・2019 年度の「てんとさいと」の表紙絵製作者、
　コール・私の一名山の執筆者を決めさせていただきました。
・山行報告文執筆者は、例会の山行報告時に指名願います。.
・原稿は紙又は電子文（パソコン作成文）で提出願います。
　電子文の場合は、下記の基本事項により作成をお願いいたします。
　紙原稿の場合は、編集担当者が電子化しますので、編集担当者に提出願います。

〈山行報告文の基本事項〉

1. 山行報告文の内容
　山行日・参加者・コースタイムを必ず記載する。（紙・電子文共通）
2. パソコン作成の基本事項
　①ＭＳ　Ｗｏｒｄ（ワード）を使用して作成
　②用紙サイズ：Ａ４サイズ　タテ
　③余白設定：上下左右 25ｍｍ
　④文字設定（本文）：ＭＳ明朝　11 ポイント
　　見出し（タイトル）は自由書式にて作成

〈令和元年度の提出日程〉

号　　数	246 号	247 号	248 号	249 号
原稿締切日	5 月 31 日	8 月 31 日	11 月 30 日	2 月 29 日
発行日	6 月 20 日	9 月 19 日	12 月 19 日	3 月 19 日
表紙絵担当	松浦　剛	殿塚　洋一	遠藤みゆき	
コール	岸野　康恵	石川　浩道	遠藤みゆき	松田　弘一
※私の一名山	石井　美樹	浅井　昭光	染谷　智行	浅井　祐子
編集担当	新島　和子	山崎　正夫	畑野　仁美	山田　朗子

1. 山行報告文の内容
山行日・参加者・コースタイムを必ず記載する。（紙・電子文共通）
2. パソコン作成の基本事項
①ＭＳ　Ｗｏｒｄ（ワード）を使用して作成
②用紙サイズ：Ａ４サイズ　タテ
③余白設定：上下左右 25ｍｍ
④文字設定（本文）：ＭＳ明朝　11 ポイント
⑤1 行の文字数 40 文
⑥1 ページの行数 40 行
見出し（タイトル）は自由書式にて作成

編集後記

平成から令和へと新しい元号に変わり、いよいよ来年は 2020 東京オリンピックが開催されます。時代の流れに飲み込まれないように必死で踏ん張っている私・・いやまてよ、たまには流れに身を任せちゃおうかな・・なんて思う自分もいるのです。

アラ還、まだまだ悩める乙女なのです。

今年は、草加山の会 45 周年の年です。埼玉百名山の完歩目指して、沢山の原稿をありがとうございました。お忙しいところ、鬼のような督促をしてしまいごめんなさい。

おかげで令和最初の「てんとさいと」246 号はこんなに分厚くなりました。

心から皆さまに感謝です。　　K.N

草加山の会
SINCE 1974